LWCIを活用したワークショップ/アンケート実施報告

【担当企業】
アクセンチュア㈱
會津アクティベートアソシエーション㈱

OPEN MY EYES

ワークショップ開催概要

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワークショップの基本コンセプト

市内在住・在勤の民間事業者・関係者、ワーキンググループメンバー、行政関係者等を対象にワークショップを実施することで、本市におけるスマートシティの取組みのさらなる展開・深化、及びLWCIに関する理解と活用の拡大を目指す。

目的

1. 市役所とAiCTコンソーシアムとの間の様々な世代における多様な交流の促進
   - 本市に立地するAiCTコンソーシアムの能力・リソースを最大限に活用し、スマートシティ会津若松の取組みのより一層の発展につなげるため、市役所内各部局とAiCTコンソーシアムの意思疎通の機会を増やし、**各部局の事情に応じた適切な協働関係の構築を図る**。
   - これにより、スマートシティAiCTに入居する企業や地元企業が、AiCTコンソーシアムを母体とし継続して事業活動を行い、その積み重ねが**本市における新たな仕事や産業の創出に繋がっていく将来像を目指す**。
2. 市民目線による課題解決の取組み促進
   - LWCIを活用し市内在住・在勤の参加者同士が意見交換をすることで、**市民目線のwell-beingの実現を自分事化する**。
   - さらには、普段はあまり交流する機会のない様々な立場のメンバーが直接アイデアを出し合うことで、**多様な視点に基づく今後のサービスの創出・拡大・改善を目指す**。
   - また、生成AI技術の活用をプログラムに組み込むことで、**進歩の目まぐるしい最新技術を今後のサービスや取り組みに取り入れていくための視点を養う**。

実施方法/テーマ

- 庁内各部局とAiCTコンソーシアム会員企業から参加するメンバーでグループを形成。個人・事業者の知見・ノウハウや、デジタル技術（生成AI）も活用しながら議論する。
- テーマ：スマートシティの取組みによる市民のwell-being実現に向けた課題解決案の検討
  - ➢ 各領域における会津若松市の良いところ・困っていることの洗い出し
  - ➢ 課題解決につながるソリューションの検討

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワークショップの実施概要

ワークショップは市役所各部局、及びAiCTコンソーシアム会員企業各社から参加者を募り実施した。

参加者	• 参加者数：15人（3~4人×4グループ） • 参加者所属：市役所各部局職員（7名）、AiCTコンソーシアム会員企業社員（8名）
実施日時/場所/アジェンダ	• 日時：2025年2月14日(金)13:00~18:00 • 場所：スマートシティ AiCT 交流棟 • タイムテーブル：　※詳細は次頁参照 ➢ 挨拶・他自治体の取組み紹介（1時間弱） ➢ WS（3時間） ➢ 発表・講評（1時間）
運営	• メインファシリテーター：ACN • 事務局：ACN • オブザーバー：スマートシティ推進室、AiCTコンソーシアム会員企業

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

タイムテーブル

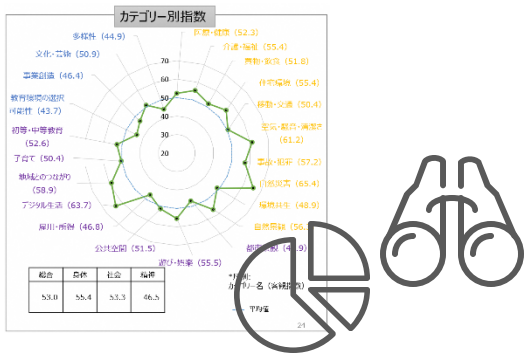
開始時間	終了時間	所要時間	内容	
13:00	13:30	0:30		受付
13:30	13:35	0:05	全体説明	挨拶
13:35	13:50	0:15	全体説明	流れ・WSの全体共有事項の説明、境町紹介動画
13:50	14:00	0:10	WG内作業	アイスブレイク・WG内自己紹介（1～2分/人程度）
14:00	14:45	0:45	全体説明/WG内作業	ワーク①-1（課題を特定する）※Well-Being指標の動画＆見方解説含む
14:45	15:00	0:15	全体説明/WG内作業	ワーク①-2（課題を特定する）
15:00	15:10	0:10	全体説明/WG内作業	ワーク①-3（課題を特定する）
15:10	15:25	0:15	全体説明/WG内作業	ワーク②-1（課題を分析し、あるべき街の姿を描く）
15:25	15:40	0:15	全体説明/WG内作業	ワーク②-2（課題を分析し、あるべき街の姿を描く）
15:40	15:50	0:10		休憩
15:50	16:00	0:10	全体説明/WG内作業	ワーク③-1（AIを使った課題解決案の探求）
16:00	16:15	0:15	全体説明/WG内作業	ワーク③-2（AIを使った課題解決案の探求）
16:15	16:25	0:10	全体説明/WG内作業	ワーク③-3（AIを使った課題解決案の探求）
16:25	16:40	0:15	全体説明/WG内作業	ワーク④-1（「目指す街の姿」の提案書の作成）
16:40	16:55	0:15	全体説明/WG内作業	ワーク④-2（「目指す街の姿」の提案書の作成）
16:55	17:00	0:05	全体説明	発表準備：実施内容の説明
17:00	17:05	0:05	WG内作業	発表準備：発表準備の実施
17:05	17:45	0:40	全体説明・発表・ディスカッション	発表・全体ディスカッション（10分×4チーム）
17:45	17:50	0:05	全体説明	〆の挨拶

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

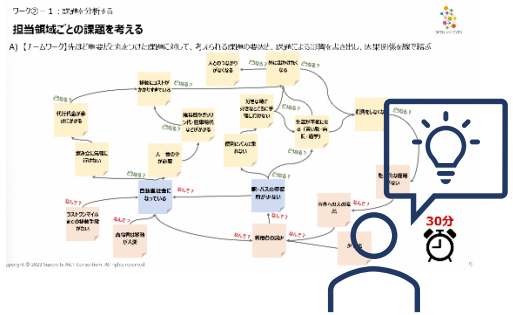
Well-Being指標を活用したWS - 生成AIを活用したワーク全体像 -

Well-Being指標と生成AIを活用し、会津若松市の現状を把握してもらった上で、それらを踏まえて目指す街の姿を検討する。

① 現状課題（As Is）の特定（70分）	②課題分析、あるべき状態（To Be）の検討（30分）	③ AIを使った課題解決案の探求（35分）	④「目指す街の姿」の提案書の作成（30分）

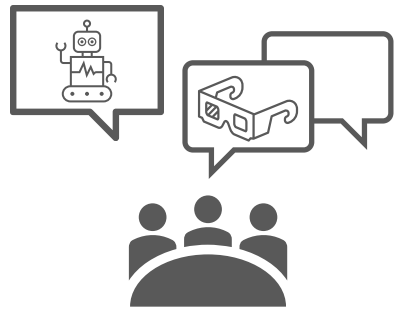


Well-Being指標を活用し、会津若松市の現状課題（As Is）を把握する



それぞれの現状課題に対し、あるべき街の状態（To Be）を検討する

現状課題（As Is）とあるべき状態（To Be）のギャップから既存の取組みや必要と考えられる取組みを検討する



検討した取組みも踏まえ、今後の会津若松市の目指す街のイメージについて議論する

ダッシュボード活用

他の市町村と比較することで会津若松市の強み・弱みの把握に活用

生成AI活用

地域により特化した
あるべき状態等を深堀

生成AI活用

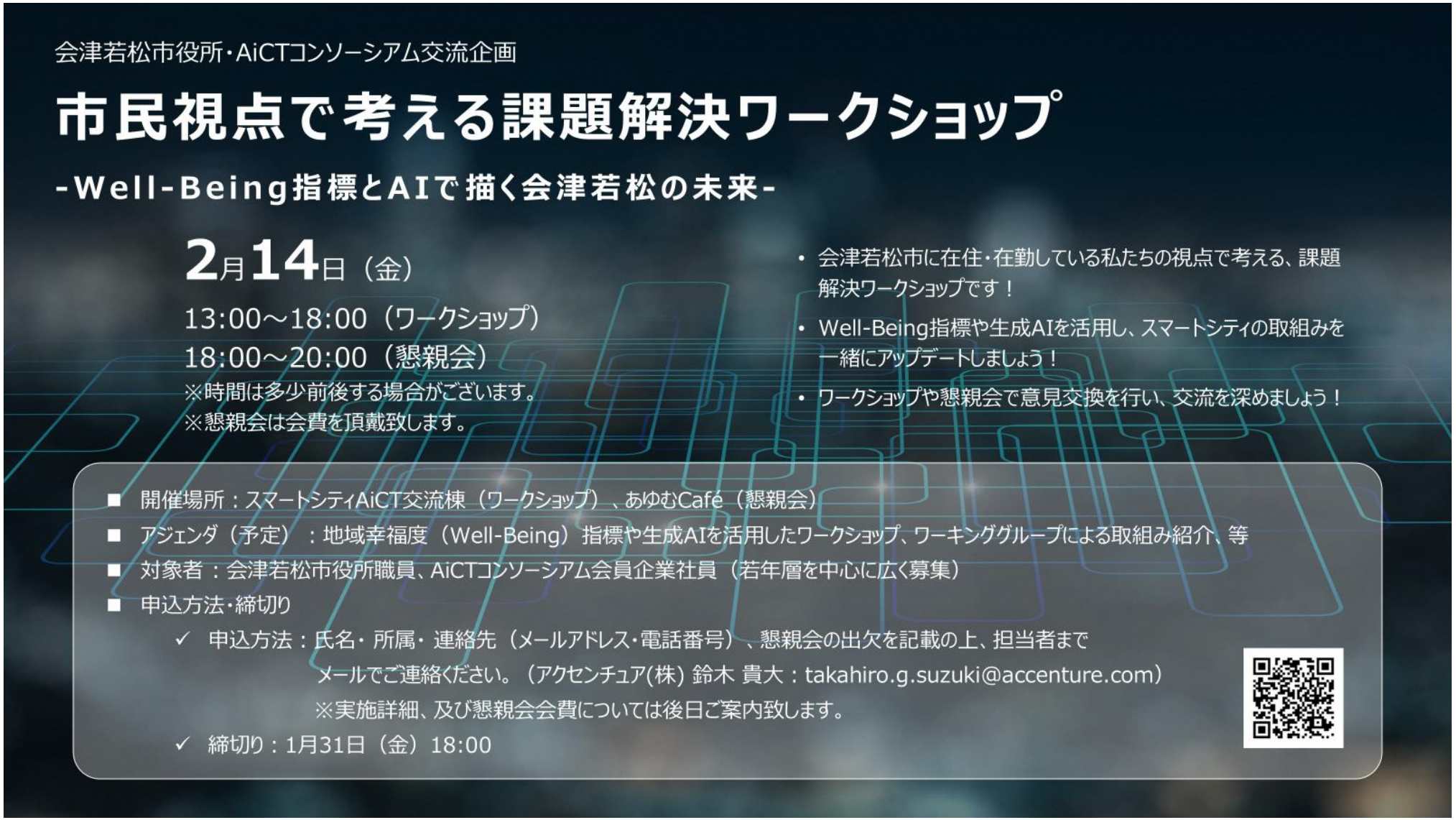
取組みやソリューションのアイデア出しだけでなく、
ブレスト・壁打ちに活用

生成AI活用

目指す姿の具体化＋
発表原稿の作成にも活用

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

（参考）開催案内チラシ



Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

参加者からの声

LWCIという観点で課題を分析することで、**普段は意識することのない街の強みや弱みに気づくことができた**

主観・客観データの違いの分析や他自治体との比較分析をすることで、**普段とは異なる視点で街を見ることができた**

ChatGPTにできることの幅が広がっていることや、生成AIを含む**テクノロジーの進歩のスピードを改めて感じた**

生成AIは考察の足掛かりとして活用し、**生成AIでは生み出せないアイデアを考え出すことが人間の仕事である**と感じた

普段は交流する機会のないメンバーとディスカッションできる有意義な機会となった

今後も継続してこのような交流の機会を持つことが肝心であると思った

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワークショップ成果物

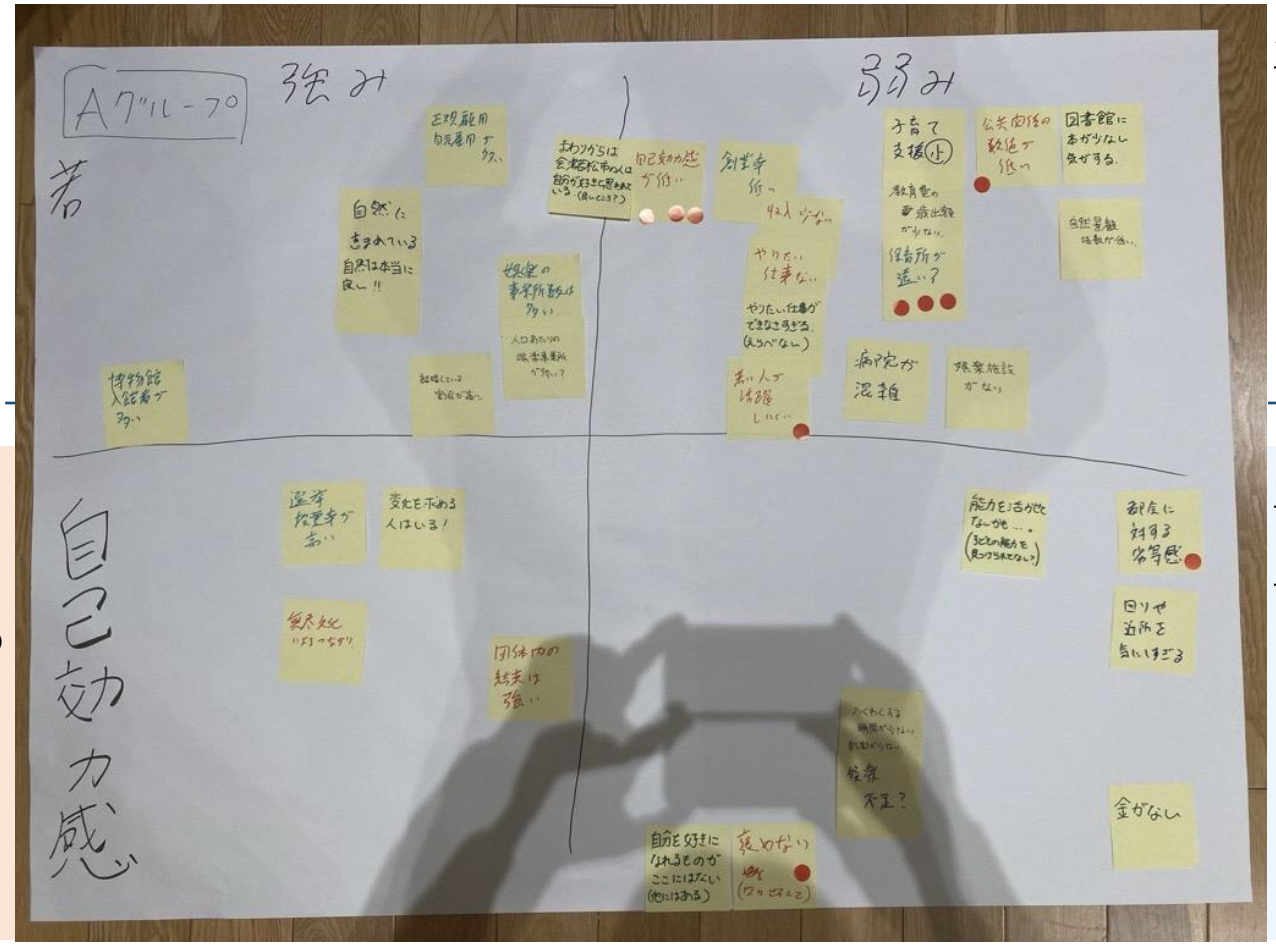
Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワーク成果物：グループA（ワーク①）

OPEN MY EYES

会津若松市の強み

- 自然に恵まれている
- 博物館入館者が多い
- 正規雇用、地元雇用が多い
- 結婚している割合が高い



会津若松市の弱み

- 自己効力感が低い
- やりたい仕事がない
- 若い人が活躍しにくい
- 子育て・教育支援が弱い

テーマ「自己効力感」における強み

- 選挙投票率が高い→変化を求める人はいる
- 無尽文化によるつながり
- 団体内の結束は強い

テーマ「自己効力感」における弱み

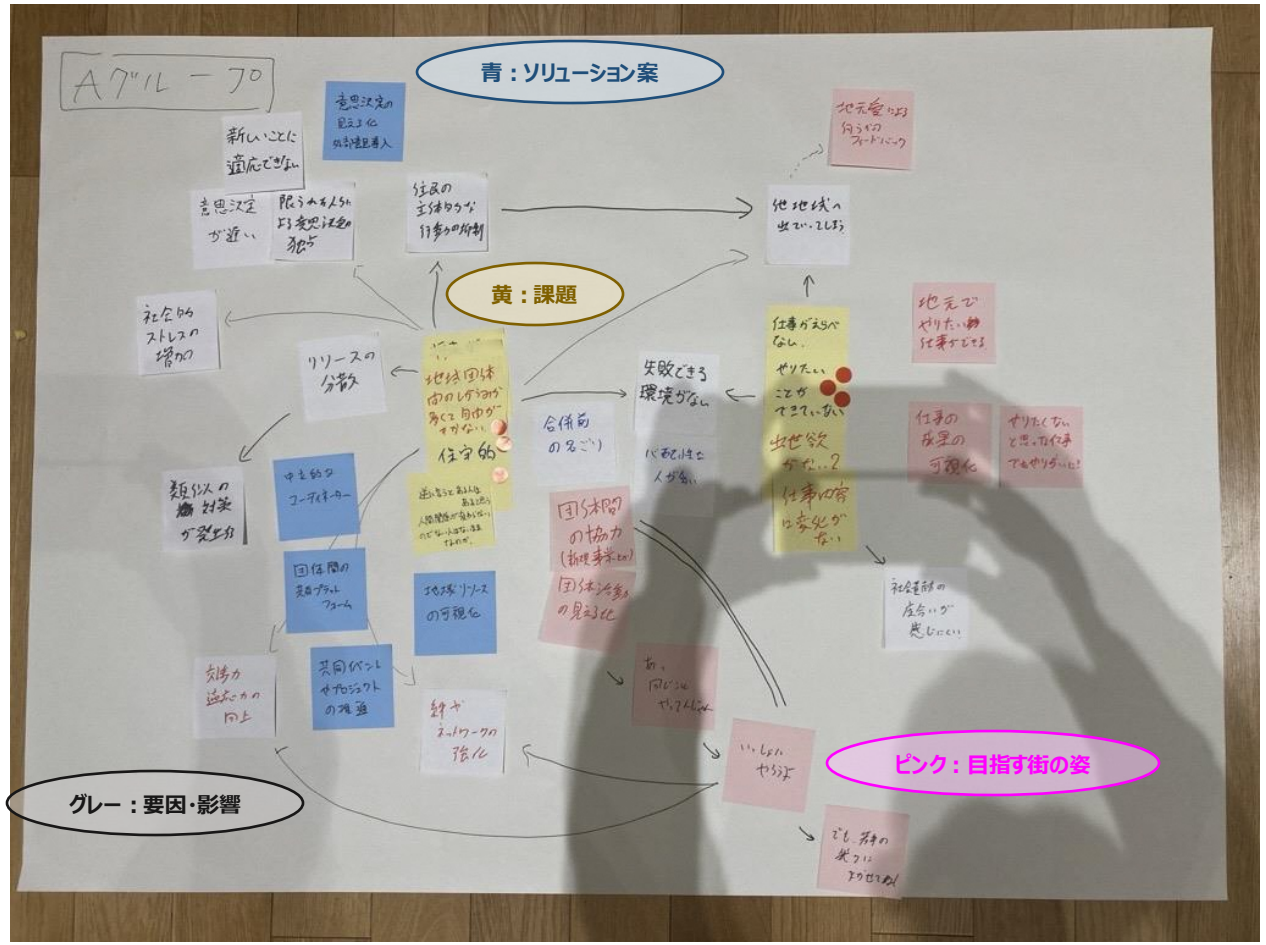
- 自分を好きになれるものがここにはない
- 周りや近所を気にしすぎる
- 都会に対する劣等感

仕事やキャリアに関して地元で魅力的な未来を描けないことが課題

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワーク成果物：グループA（ワーク②③）

OPEN MY EYES



課題・要因・影響

- 新しいことを始める人がいても支える仕組みがなく、長続きしない
- 仕事やキャリアの選択肢が少なく未来を描きにくい

目指す街の姿

- やりたい仕事ができる街
- 様々な組織・団体が協力・連携している街

ソリューション案

- 地域リソースの可視化
- 共同イベントやプロジェクトの推進
- 団体間の共有プラットフォーム

多様なコミュニケーションの機会の創出と各種団体間の連携を実現する

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワーク成果物：グループA（ワーク④）

① 現状課題（As Is）の特定 ② 課題分析、あるべき状態（To Be）の検討 ③ AIを使った課題解決案の探求 ④「目指す街の姿」の提案書の作成

OPEN MY EYES

「自由な挑戦・つながる地域・動き出す未来」

目指す街の姿（概要）

- 自ら動き出したくなる活気ある街
- 人と人がつながるオープンな街

課題

- 既存団体間の対立・連携不足
- 外部の人材や新しい価値観の受け入れ不足
- 新しいことを始める人がいても、**支える仕組みがなく、長続きしない**ことが多い。
- 仕事やキャリアの選択肢が少なく、**魅力的な未来を描きにくい**

課題解決アプローチ

- 伝統と革新のバランスを取り、対話の場を増やす
- 関係人口プログラムを拡充し、外部との交流を活発化
- 共通の目標を見つけ、連携のメリットを作る
- 小さな成功体験を積み重ね、地域参加の機会を増やす
- 地域リソースマップとシェアリングシステムを導入する
- スモールスタートの制度を導入し、迅速な判断を促す
- 地域でのキャリア形成の選択肢を増やし、働く場を作る

街のイメージ

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワーク成果物：グループB（ワーク①）

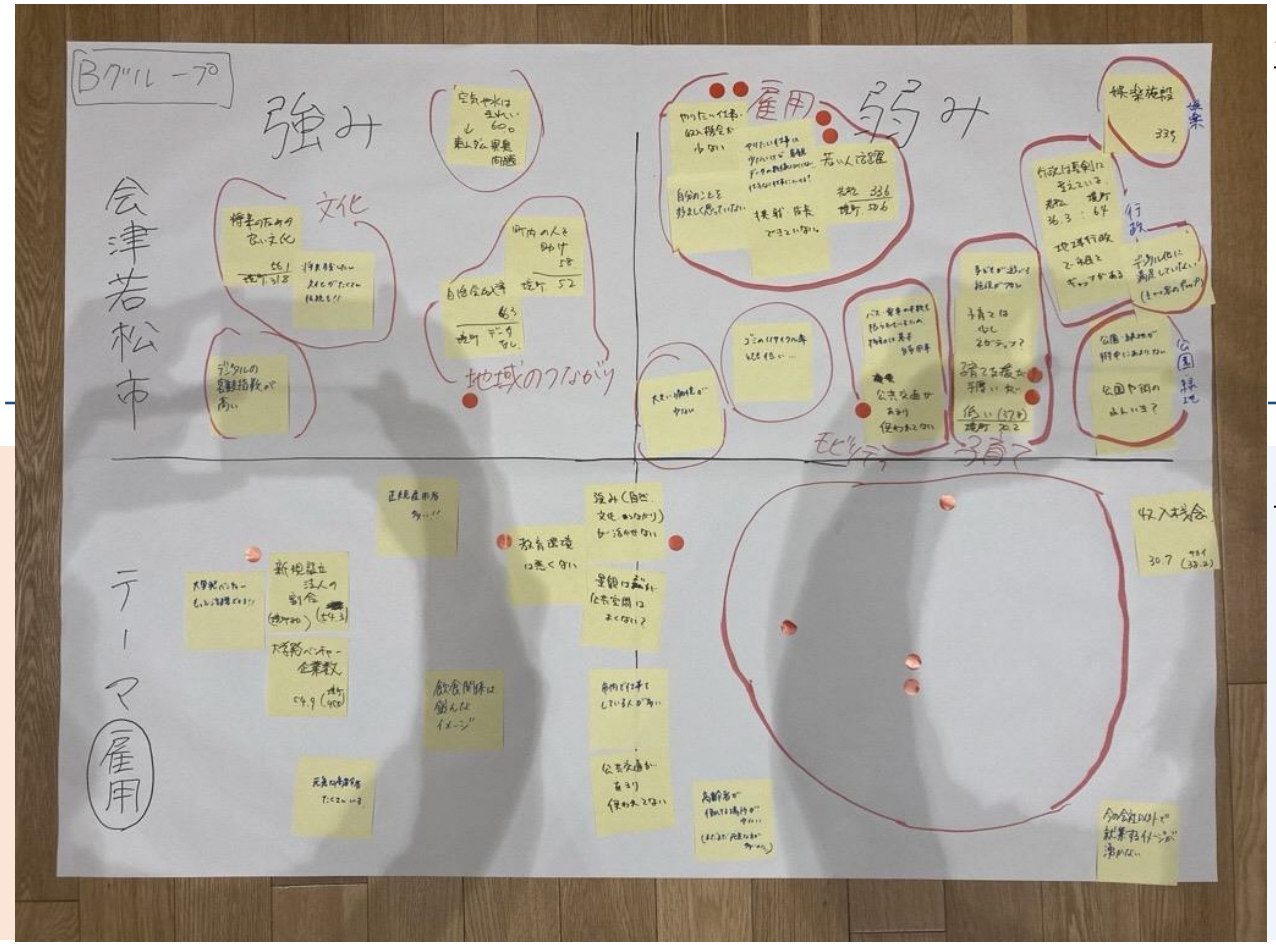
OPEN MY EYES

会津若松市の強み

- 将来に残したい文化・伝統がある
- 地域のつながりがある
- 空気や水がきれい
- デジタルの客観指数が高い

テーマ「雇用」における強み

- 大学発ベンチャー企業数が多い
- 正規雇用者が多い
- 元気な高齢者が多い
- 飲食関係は盛ん
- 教育環境は悪くない



会津若松市の弱み

- 雇用機会が少ない
- 子育ての評価がネガティブ
- 公共交通機関が不十分
- 行政の評価がネガティブ

テーマ「雇用」における弱み

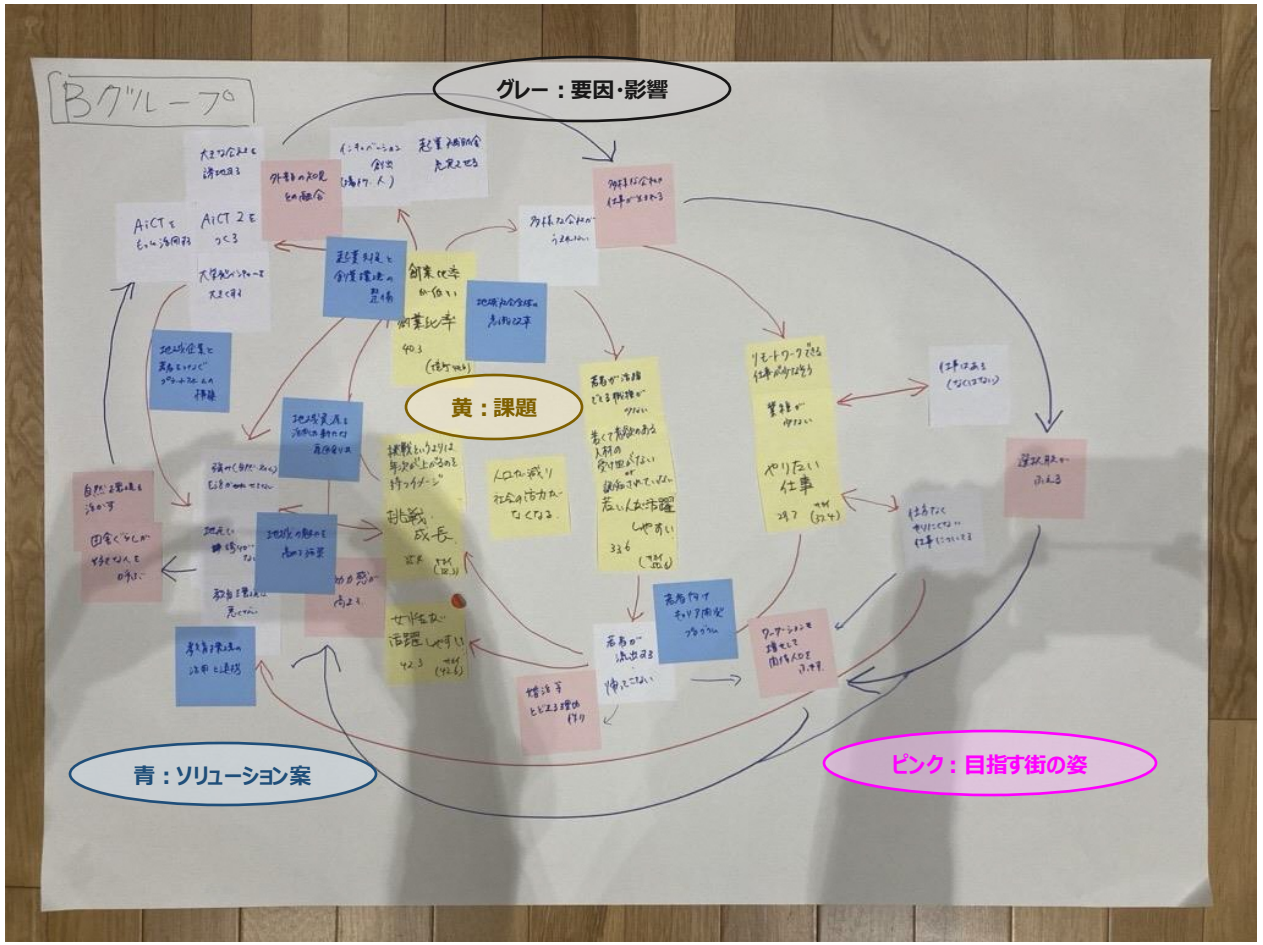
- 収入機会が少ない
- 高齢者が働ける場所が少ない
- 今の会社以外で就業するイメージが沸かない
- 仕事の選択肢が少ない
- 若い人の活躍の場が少ない

様々な人材の活躍の場や挑戦・成長の機会が乏しいことが課題

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワーク成果物：グループB（ワーク②③）

OPEN MY EYES



課題・要因・影響

- 若くて意欲のある人材の受け皿が少なく活躍できないため、若者が流出し帰ってこない
- 創業比率が低く、自然や文化といった強みを活かせていないため、地元に誇りが持てない

目指す街の姿

- 多様な会社や仕事が生まれる街
- 豊かな自然環境を活かした街づくりと、それによる人材の獲得

ソリューション案

- 地域企業と若者をつなぐプラットフォーム
- 企業支援と操業環境の整備
- 地域資源を活かした新たな雇用機会の創出

若い人材や地元の資源を活かした雇用機会の創出を図る

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

「クロス・シェアリングエコシステム」

目指す街の姿（概要）

- 地域、企業、住民が共に学び、成長できる「共創型都市」
- 伝統と革新が融合し、地域資源と企業のリソースがシェアされる街

課題

・創業比率が低い　・若者が活躍できる仕事がない
・やりたい仕事がない　・挑戦や成長の機会がない
・女性が活躍しにくい　・自然文化などの強みが生かせていない
・若者が流出する・帰ってこない

課題解決アプローチ

(1)「クロス・シェアリングエコシステム」の推進
地域内外の企業や住民がリソースを交換し、オンラインプラットフォームでスキルや設備をシェア。
地域資源と現代技術を組み合わせ、新しいビジネスを創出。

(2)**「エクスチェンジプログラム」**
地元企業、大企業、ベンチャー、住民が実務を通じて学び合い、地域課題に取り組みながら新しいビジネスを共創。若者のキャリア形成を促進し、地域経済への定着を支援。

(3)**「シェアラボ」設立**
企業や住民がリソースを共有できるシェアオフィスやコワーキングスペースを設置。共同プロジェクトやアイデア開発を行い、定期的にワークショップや技術共有イベントを開催し、スキルアップを図る。

街のイメージ

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワーク成果物：グループC（ワーク①）

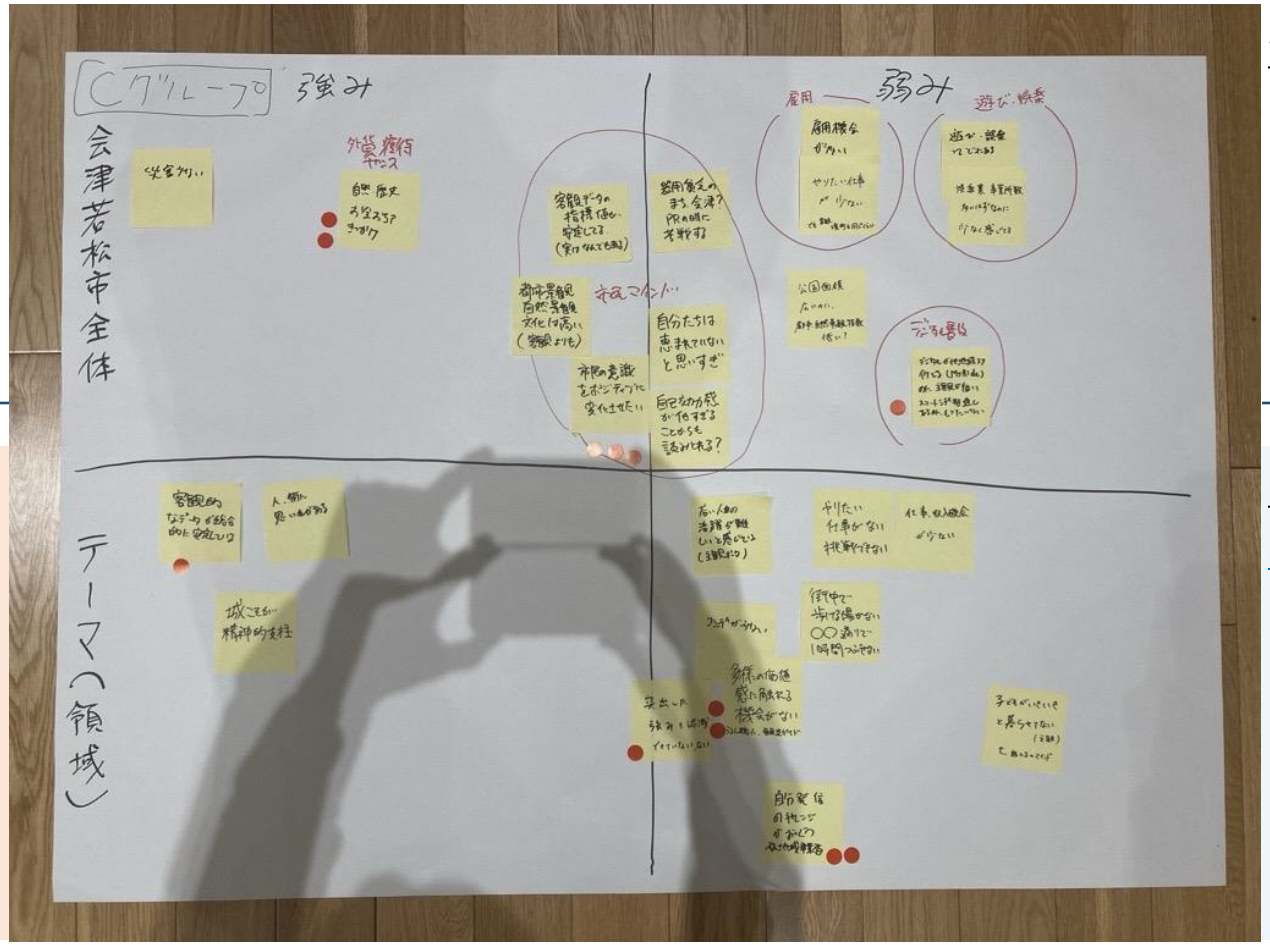
OPEN MY EYES

会津若松市の強み

- 災害が少ない
- 自然や歴史が収益を生んでいる
- 都市景観や自然環境、文化に関する評価が高い

テーマ「市民マインド」における強み

- 客観データが総合的に安定している
- 城が精神的支柱になっている



会津若松市の弱み

- 雇用機会ややりたい仕事が少ない
- 遊びや娯楽の機会が乏しいと感じている
- デジタル化の実感が乏しい

テーマ「市民マインド」における弱み

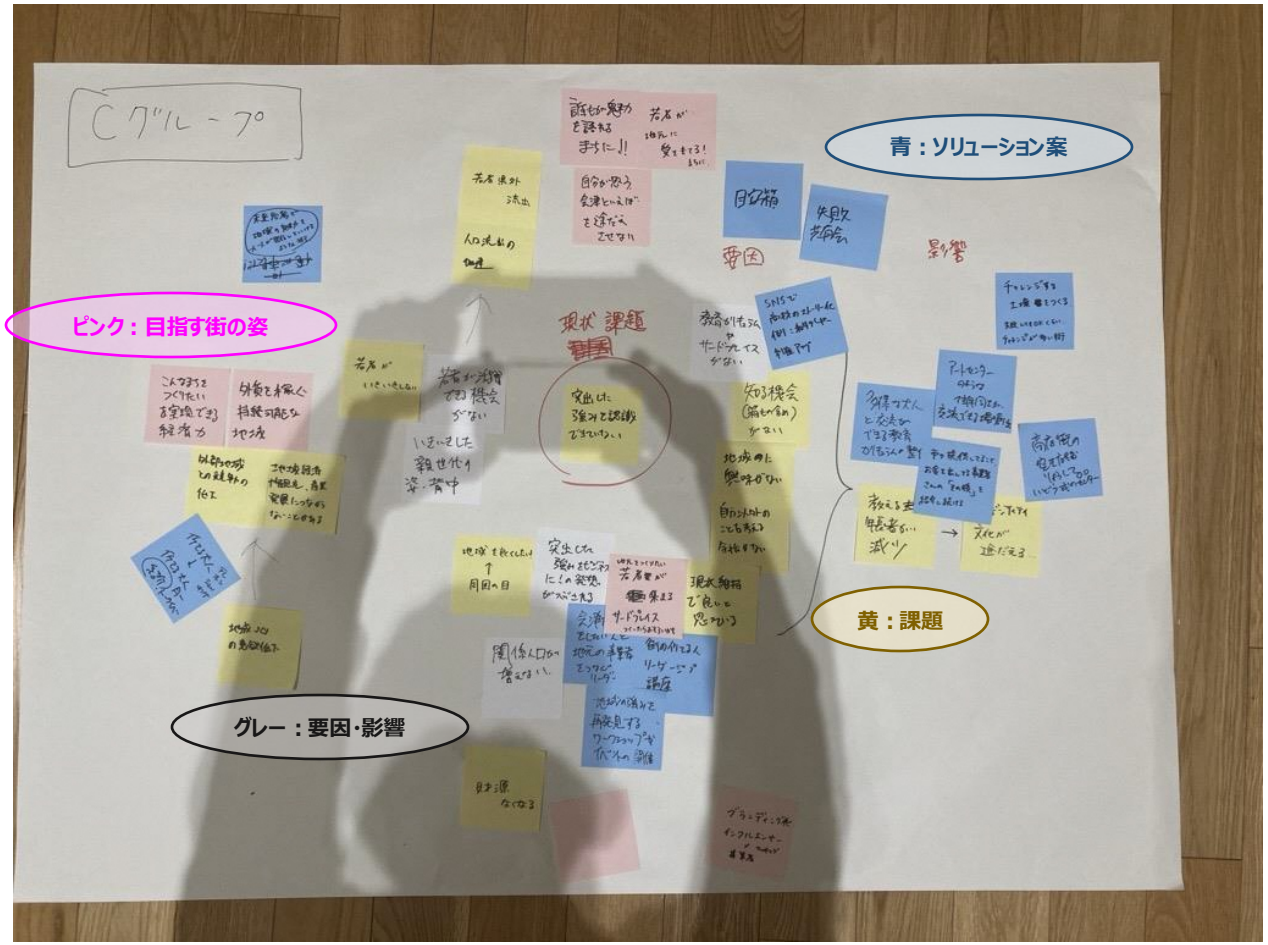
- 若い人の活躍が難しい
- やりたい仕事がなく挑戦できない
- 多様な価値観に触れる機会が少ない
- 子どもが生き生きと暮らせていない

若い人が地元に愛着を持てず、地元で活躍できるイメージを持てないことが課題

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワーク成果物：グループC（ワーク②③）

OPEN MY EYES



課題・要因・影響

- 若者が活躍できる機会がなく若者の流出につながっている
- 教育カリキュラムやサードプレイスが不十分であり、地域に愛着や興味を持てない

目指す街の姿

- 誰もが魅力を語れる街
- 若者が地元に愛を持てる街
- 「こんな街をつくりたい」という意思を実現できる街

ソリューション案

- リーダーシップ開発や地域の強みの発見等のワークショップやイベント
- 多様な大人と交流できる教育カリキュラム
- 商店街の空き店舗等の活用

地元の良いものや強みを活かす機会や仕組みの創出を図る

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

OPEN MY EYES

あいづ熱論！アイデアでつながる街

目指す街の姿

- 地域愛が溢れ、会津を良くしたいと熱い思いが飛び交う活気ある街

課題

・地元の良いものや強みを知る機会や教えてくれる人が少ない

・誰もが気軽に立ち寄れるたまり場がない

・同じ思いをもった人と繋がる機会な少ない

課題解決アプローチ

地域愛溢れた会津版テレフォンショッキング（対面イベント）

- 各会でイケてる人が事業アイデアやノウハウを講演
- 笑っていいとも！のテレフォンショッキングのようにイケてる人がイケてる人を紹介し続け濃い講演内容を提供
- 空き店舗などを利用し、交流拠点を設ける
- 会津を活性化したいという思いを持った熱い人たちの繋がりを作る
- 成功事例だけでなく失敗談も共有（失敗＝学びという意識醸成）

街のイメージ

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワーク成果物：グループD（ワーク①）

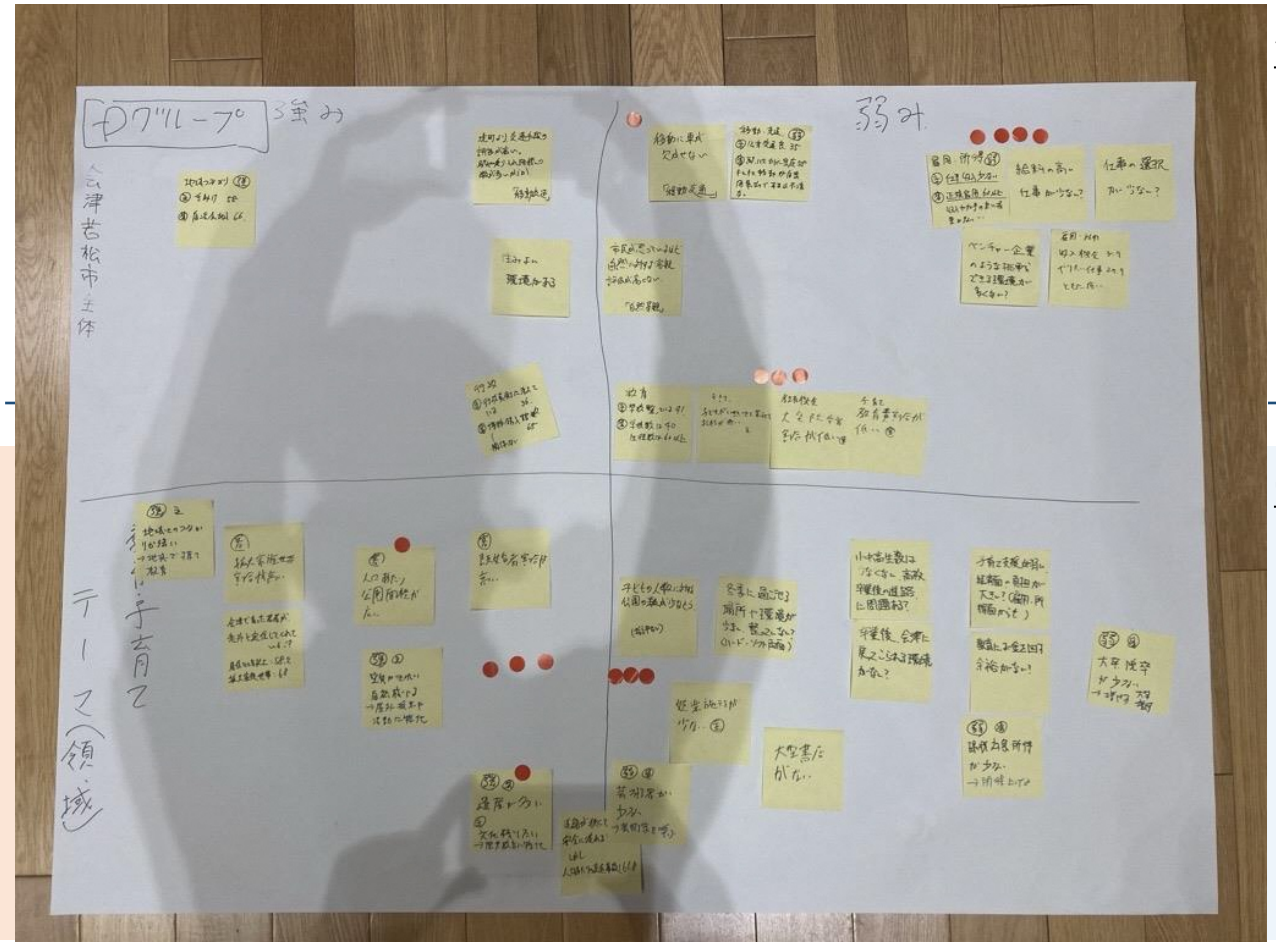
OPEN MY EYES

会津若松市の強み

- 地域のつながりが強い
- 住みよい環境がある

テーマ「子育て」における強み

- 地域のつながりが強く地域で子育てができている
- 豊かな自然環境を活かした教育ができている
- 歴史を活かした教育が可能



会津若松市の弱み

- 移動に車が欠かせない
- 学校教育や子育てに関する評価が低い
- 仕事の選択肢や収入の良い仕事が少ない

テーマ「子育て」における弱み

- 学校卒業後に会津に戻ってこられる環境が整っていない
- 子育て・教育に対する経済的支援が不十分
- 娯楽施設、大型書店がない

学習機会の不足や教育支援の乏しさが課題

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

ワーク成果物：グループD（ワーク②③）

OPEN MY EYES

課題・要因・影響

- 観光地であるにもかかわらず英語を話せる人が少なく、外国人の受け入れ機会や働き手の確保の機会を失っている
- デジタルに関する教育が不十分なため、実感を伴うデジタル化やAiCTとの連携が進まない

目指す街の姿

- 世界中から観光客が押し寄せる街
- 世界中のデジタル企業が集う街
- 学校以外の学びの場が多い街

ソリューション案

- AiCTを活用したデジタル教育
- デジタル・英語・観光に特化した人材育成
- 会津大学との連携強化

観光地である利点とAiCTを活かし、デジタル教育と英語教育の充実を図る

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

「AIZU FUTUREVERSE: 教育×テクノロジーが創る次世代都市」

目指す街の姿（概要）

1. 英語教育の強化と実践機会の創出　2. デジタル教育の推進と教員負担の軽減
3. AiCTを活用した「デジタル×教育」の拠点化　4.「デジタル×英語×観光」を軸とした人材育成と雇用促進

課題

- ✅ 観光地であるにもかかわらず英語を話せる人が少ない。
- ✅ デジタルを使った教育が推進できていない。
- ✅ 地域全体でデジタル化が進んでおらず、学習機会や教育資源が限られている。
- ✅ デジタルスキルや英語力を持つ人材が不足し、地域経済に活かせていない。

課題解決アプローチ

- ✅ **観光地での英語ガイド体験やデジタルツールを活用した英語学習機会を増やす。**
- ✅ **AiCTを拠点に、教員向けのICT活用研修を実施し、教育のデジタル化を加速。**
- ✅ **AiCTに「教育デジタル推進センター」を設立し、地域全体のデジタル学習機会を拡充。**
- ✅ **会津大学・AiCTの企業と連携し、デジタル＆英語を活かせる観光業向けインターンシップを実施。**

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

（参考）イベント実施風景

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

（参考）イベント実施風景（1/2）

佐々木様（会津若松市）のご挨拶

グループ内自己紹介

ワーク風景（Aグループ）

ワーク風景（Bグループ）

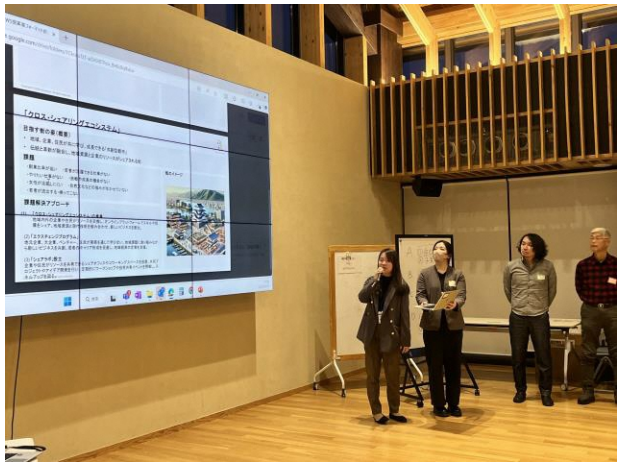
ワーク風景（Cグループ）

ワーク風景（Dグループ）

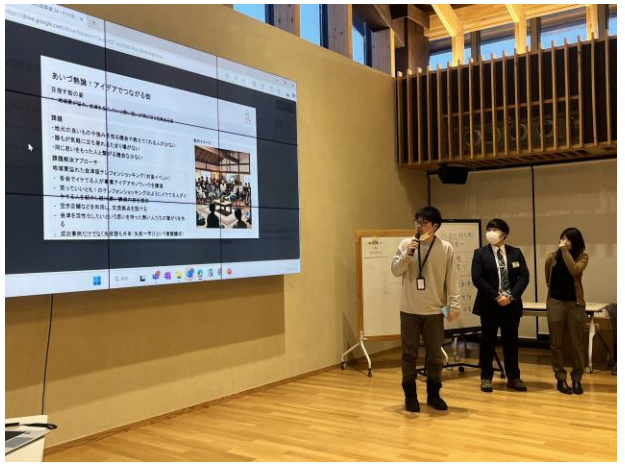
Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

（参考）イベント実施風景（2/2）

発表（Aグループ）



発表（Bグループ）



発表（Cグループ）

発表（Dグループ）

全体ディスカッション

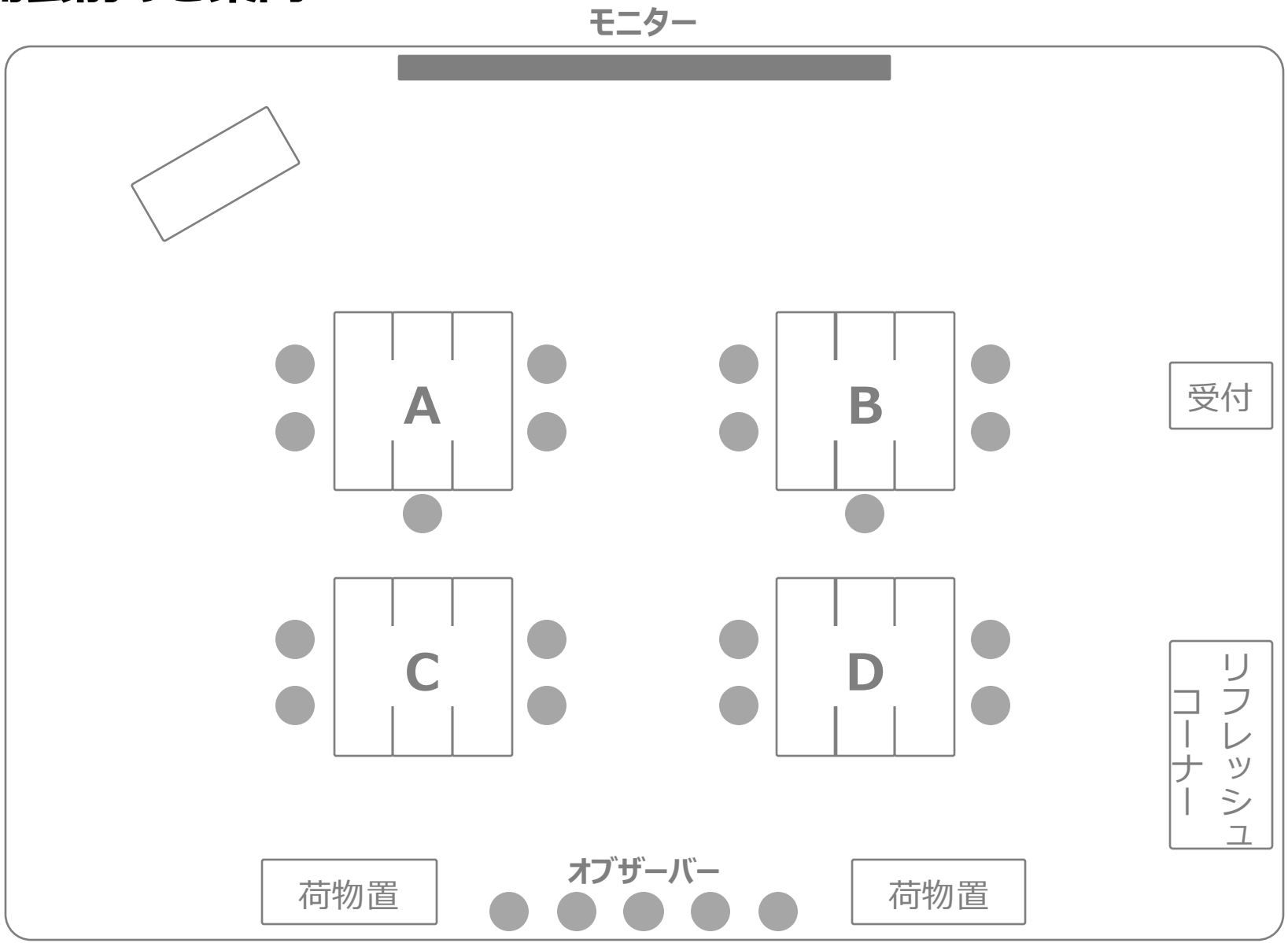
全体ディスカッション

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

（参考）投影資料

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

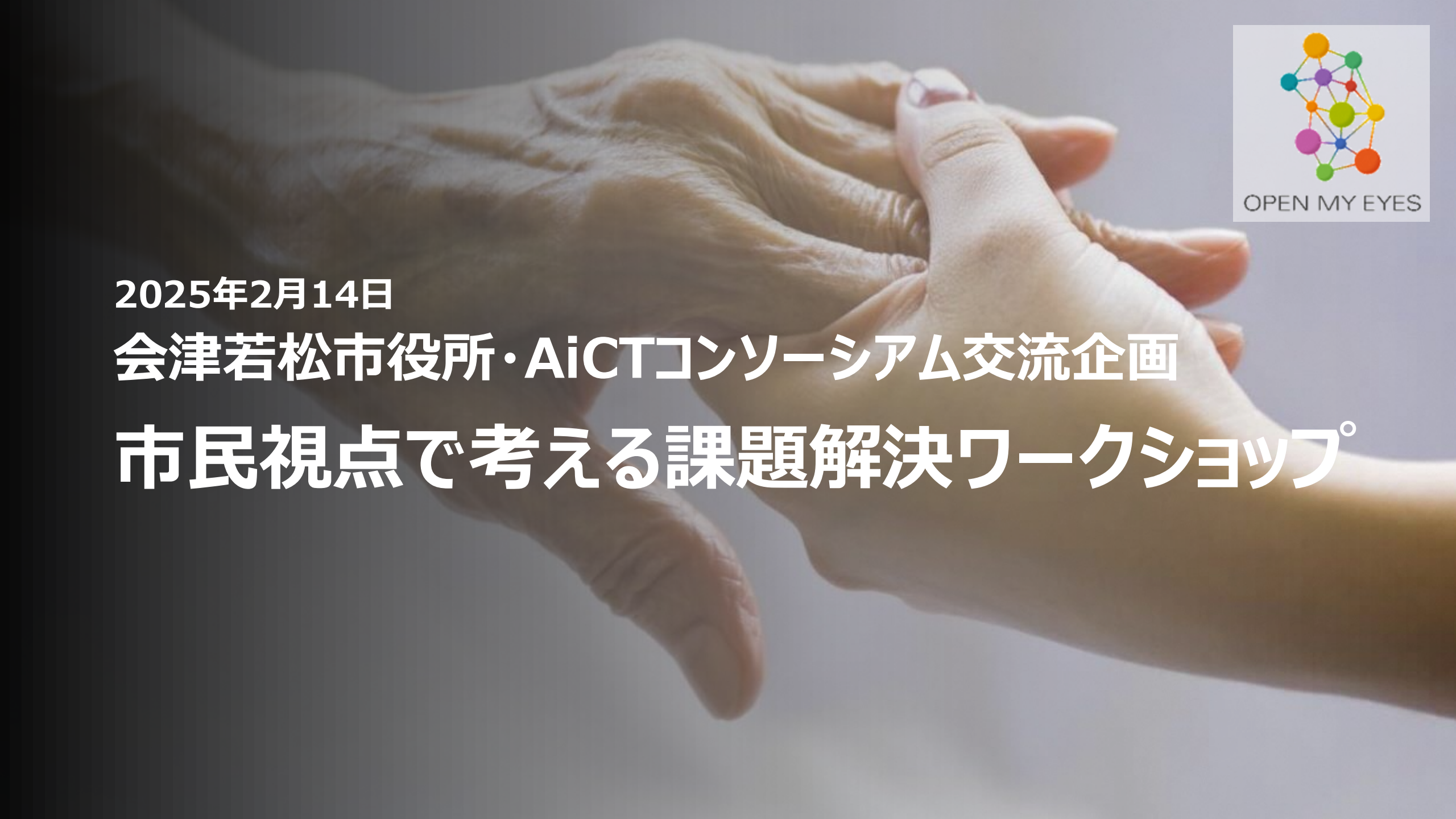
開会前のご案内



- 受付で伝えられたグループ名の座席にお座りください
- 席に着いたら名札の準備をお願いいたします
  （記載例）

  山田
  ○○会社
- トイレは受付のある入口を出て右手側にあります
- PC担当の皆様は準備をお願いします

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.



2025年2月14日

会津若松市役所・AiCTコンソーシアム交流企画

市民視点で考える課題解決ワークショップ

アジェンダ

01　開催挨拶

02　全体説明・Well-Being指標（LWCI）の紹介

03　グループワーク

04　発表

05　閉会挨拶

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

本日のワークショップの目的

OPEN MY EYES

会津のこれからを担う若手同士の官民超えた交流

- とにかく交流！ワークショップの作業はぶっちゃけおまけです！
- デジタルに縛られてはいけません。AiCTの人もデジタルありきは厳禁！
- 皆さんの中で少しでも会津の認識が深まったり、こういう会津になったらいいながができることが目標です。
  （最終的な成果物はどうでもよいです。）

上記のために・・・

- 会津の現状をLWCI（後述）を活用して把握してみましょう！
- はやりのAIを使ってみて、その便利さ？しょぼさ？を体感してみながら、推進案を考えてみましょう！

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワークショップの基本ルール

OPEN MY EYES

Yes ! ☺

- **Don’t be SHY !! Open Mind !!**
- 会話は一人ずつ
- 質より量。一つのことから広げていくと膨らみやすい
- 仲間のアイデアを褒める、のる
- 奇抜なアイデア大歓迎
- 座らずに立ちながら話すのがおススメ

No… ☹

- **「でも…」「いや…」「難しい」は言わない**
  （言いそうになったら、「新しい！」と言おう）
- ネガティブワードは厳禁！仲間の意見を活かそう
- エキスパート崇拝禁止！専門・役職は捨てよう
- スマホは厳禁！目の前のお題に集中しよう

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

付箋の使い方

とにかく付箋を使ってチームメンバー全員の**アイデアを付箋に書き、メンバー間で情報共有**することが重要です！

1付箋
1メッセージ

なるべく
具体的に

文字を大きく

背景・ストーリー
をこめる

数を出す

イラスト
を入れる

粘着部分が上
横にはがす。

ハイライトする

どんどん動かす

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

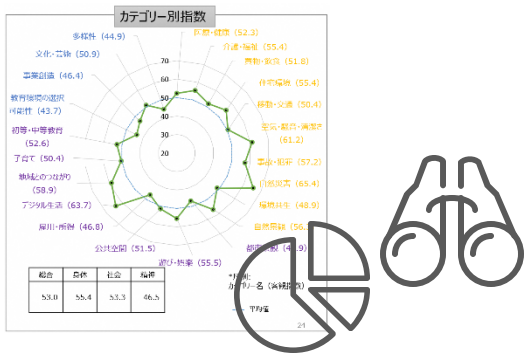
Well-Being指標を活用したWS

生成AIを活用したワーク全体像

Well-Being指標と生成AIを活用し、会津若松市の現状を把握してもらった上で、それらを踏まえて目指す街の姿を検討する。

OPEN MY EYES

① 現状課題（As Is）の特定（70分）

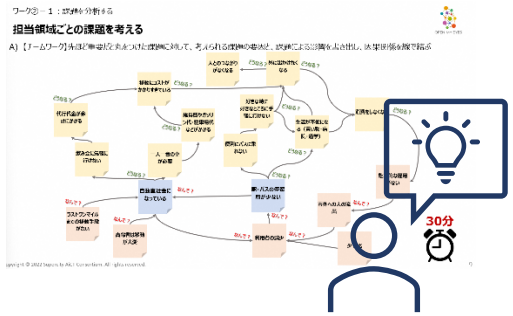


Well-Being指標を活用し、会津若松市の現状課題（As Is）を把握する

ダッシュボード活用

他の市町村と比較することで会津若松市の強み・弱みの把握に活用

②課題分析、あるべき状態（To Be）の検討（30分）



それぞれの現状課題に対し、あるべき街の状態（To Be）を検討する

生成AI活用

地域により特化した
あるべき状態等を深堀

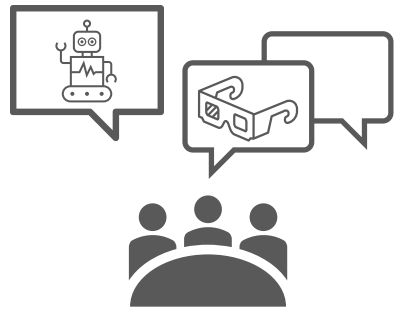
③ AIを使った課題解決案の探求（35分）

現状課題（As Is）とあるべき状態（To Be）のギャップから既存の取組みや必要と考えられる取組みを検討する

生成AI活用

取組みやソリューションのアイデア出しだけでなく、
ブレスト・壁打ちに活用

④「目指す街の姿」の提案書の作成（30分）



検討した取組みも踏まえ、今後の会津若松市の目指す街のイメージについて議論する

生成AI活用

目指す姿の具体化＋
発表原稿の作成にも活用

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

イントロダクション：他地域の事例

イントロダクションとして、他地域の事例をあえて見てみましょう！
会津のみにとらわれすぎないことも大切です。

家も子育ても“無料”？ 人気の移住先1位 茨城・境町、財源は？ 町長を直撃【Nスタ解説】｜TBS NEWS DIG

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

アイスブレイク

自己紹介

○○（所属）の○○（名前）です。

普段は○○といった
仕事をしています。

私の思う会津若松市の良いところは○○です。

境町の動画を見て・・・

10分

①課題を特定する

OPEN MY EYES

- Well-Being指標から、会津若松市の状況を捉える
  - ステップ１：各グループで討議するテーマ（領域）を決める
    - ✓ 動画視聴とWell-Being指標の見方の解説の後、**レーダーチャート上の24項目**のうち、特に重要・解決すべき課題があると思う項目を**一人2～3個選ぶ**
    - ✓ 選んだ項目の**詳細指標のデータ**から読み取れる会津若松市の強み・弱みを書き出し、模造紙上に可視化する
    - ✓ 強み・弱みをグルーピングして今日深掘りしたいテーマ（領域）を決める
  - ステップ２：討議するテーマ（領域）の強み・弱みを可視化する
    - ✓ グループで討議するテーマ（領域）に関連する項目の詳細指標を見て、会津若松市の強み・弱みを付箋に書き出す
  - ステップ３：洗い出した強み・弱みのうち、特に**重要なものを2～3個特定する**
    - ✓ ここで特定した課題に対して、ワーク②以降で分析・サービス検討を行っていきます！

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

Well-Being指標（LWCI）のご紹介

OPEN MY EYES

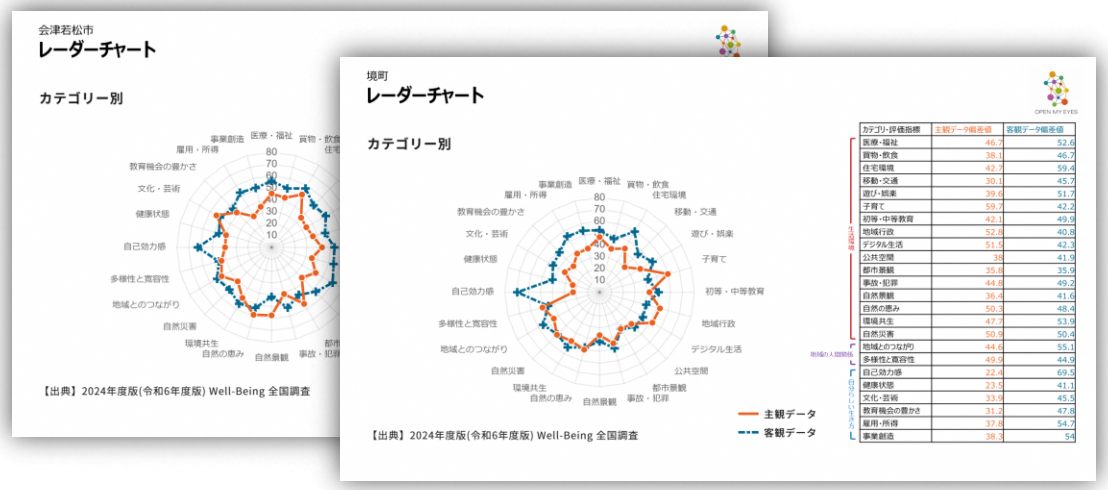
地域幸福度（Well-Being）指標のご紹介 – YouTube

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

【解説】Well-Being指標の見方

OPEN MY EYES

レーダーチャート（カテゴリー別指標）



- Well-Being指標（LWCI）は24項目の因子から構成されています
- レーダーチャートは、その24項目のサマリとして総合的な結果を示しています⇒**全体感を掴む**のに活用してください

折れ線グラフ（詳細指標）

- 詳細指標は24項目の因子の詳細で、集計に使われたデータとその結果が示されています
  ⇒**特定の因子を詳細に**確認するのに活用してください
- 50が平均的な値で、**50未満は他の自治体に比べて悪い・低い**結果、**50以上は良い・高い**結果になります

5分

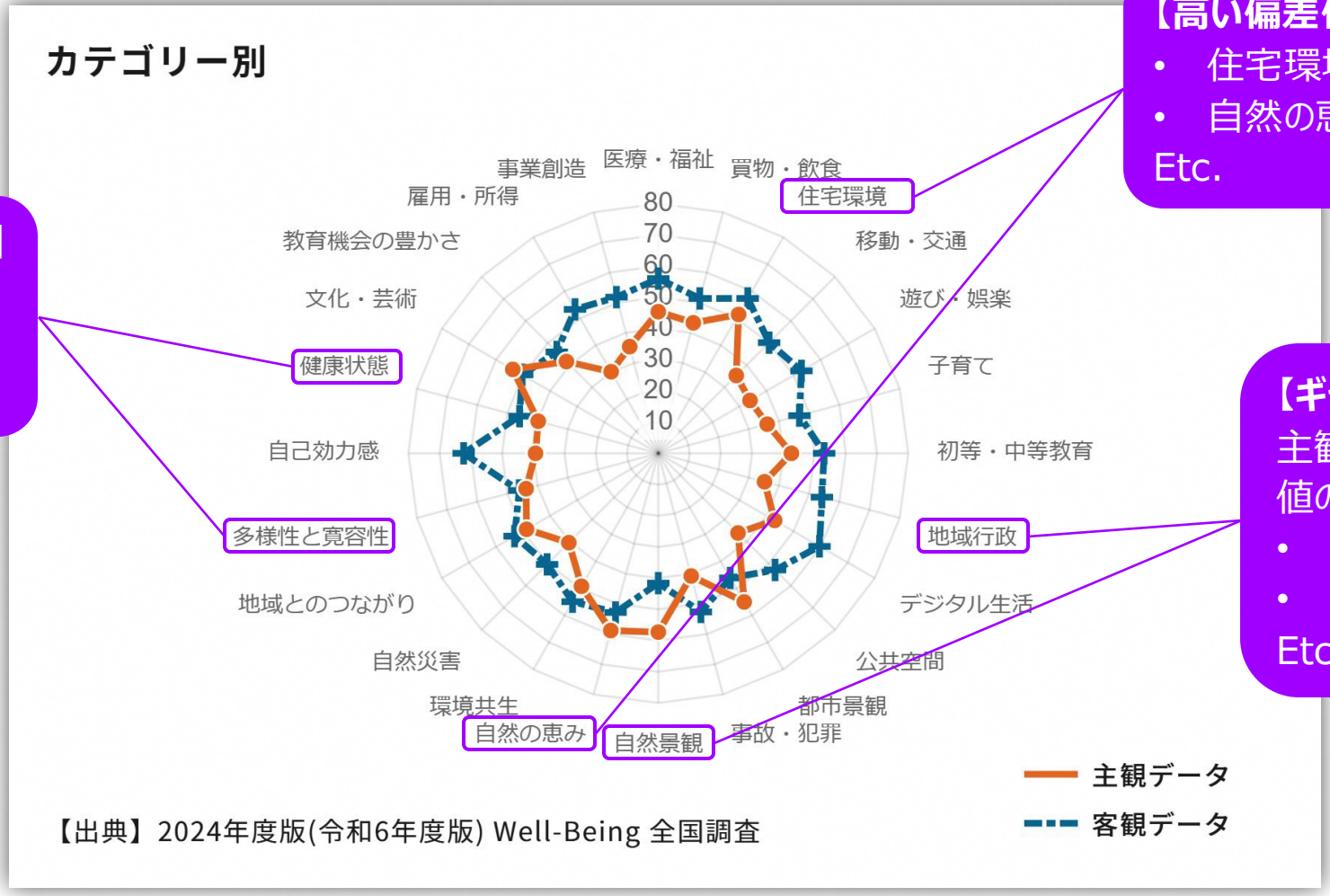
Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

【解説】Well-Being指標の見方

- レーダーチャートの凹凸から、まちの個性を把握するヒントが見えてきます
- 主観と客観の間のギャップの大きさも、まちを理解する上でポイントとなります

【低い偏差値に着目】
- 多様性と寛容性
- 健康状態

Etc.



【高い偏差値に着目】
- 住宅環境
- 自然の恵み

Etc.

【ギャップに着目】

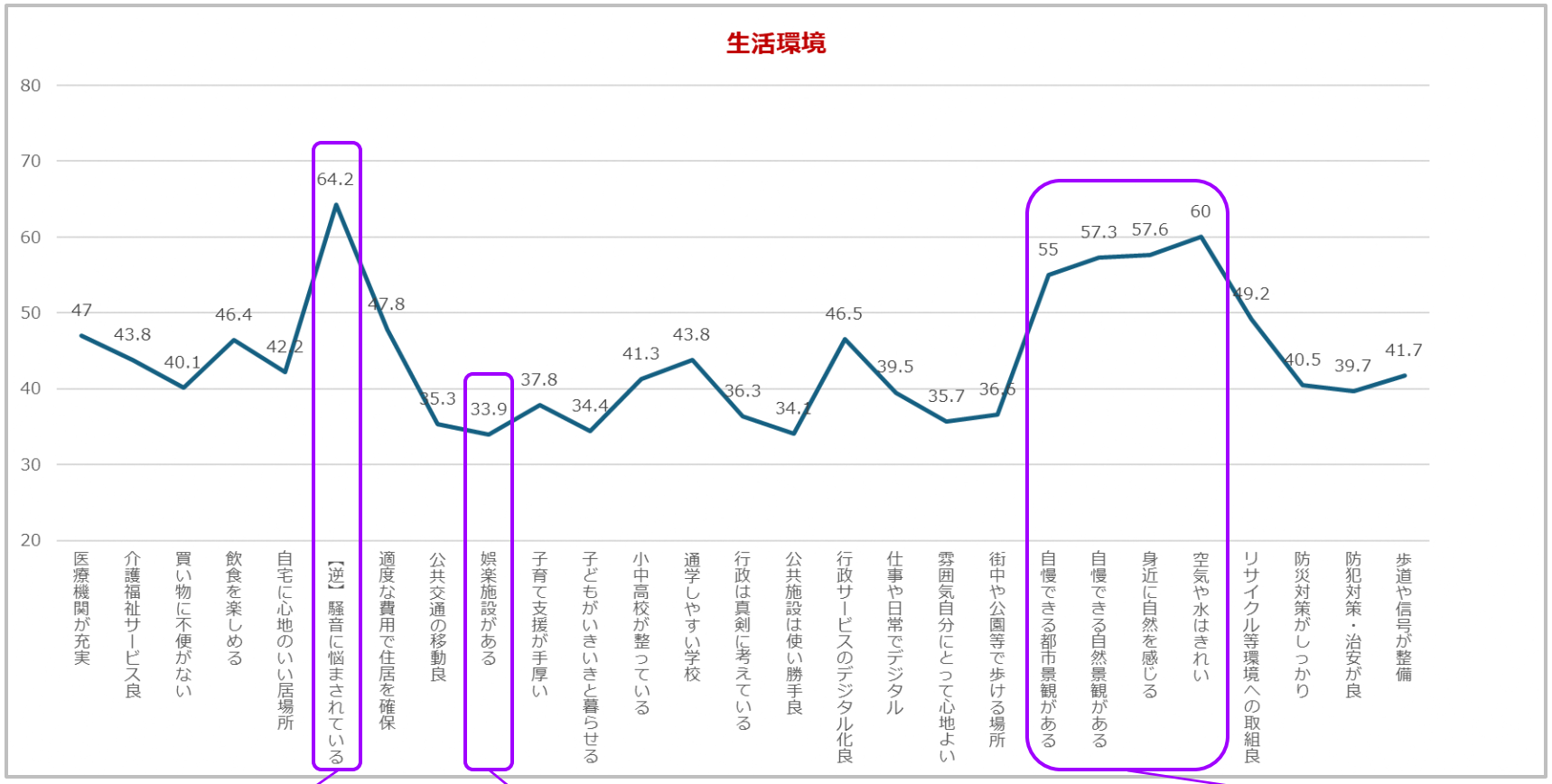
主観指標と客観指標の値のギャップが大きい
- 地域行政
- 自然景観

Etc.

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

【解説】Well-Being指標の見方

■ レーダーチャートで大枠理解した各因子について、どの項目（KPI）により因子の値が高くなっているか、あるいは低くなっているか、その要因を分析することができます



静かな住宅環境が整っている

娯楽施設が不足している

地域の景観や自然環境に対する評価は高い

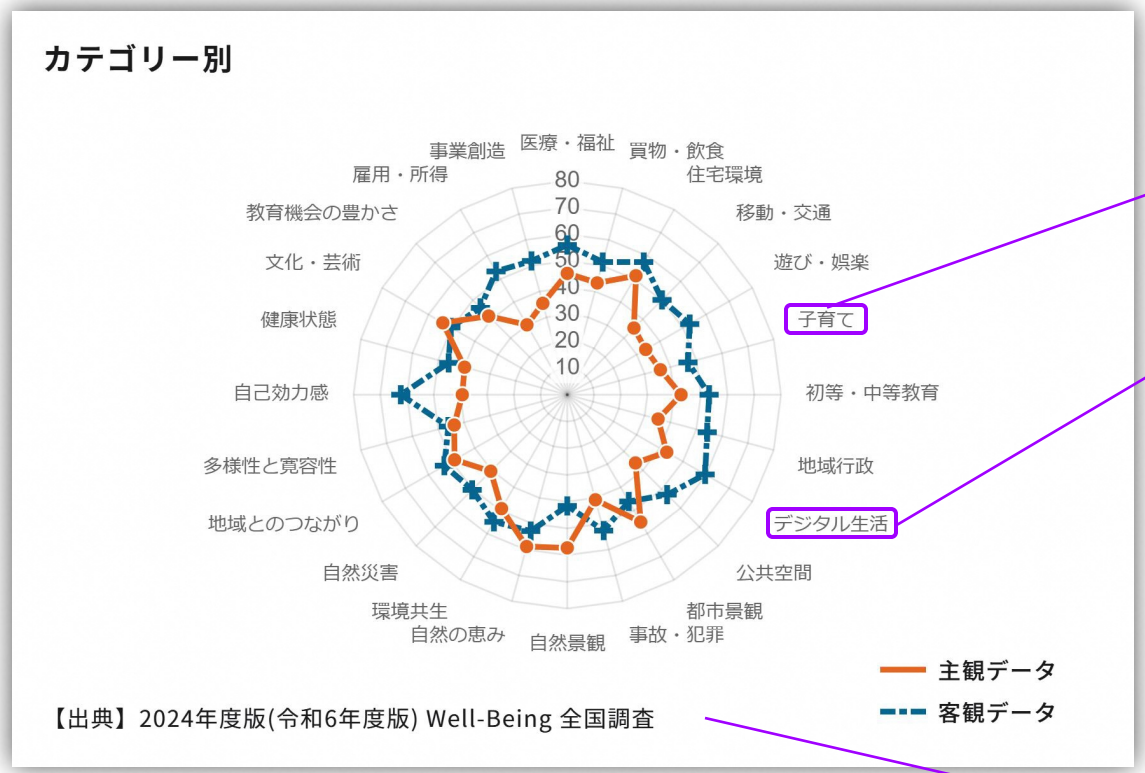
Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

【解説】Well-Being指標の見方

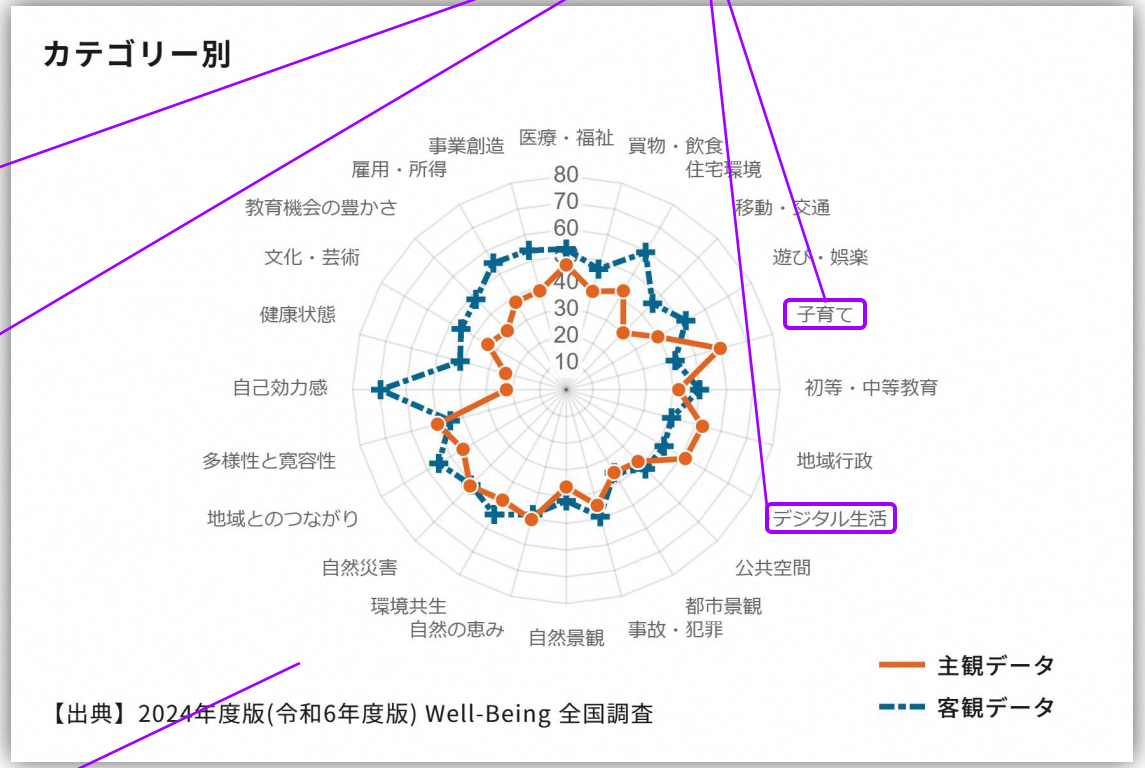
■ 会津若松市の指標だけを見るのではなく、境町の指標と比べてみましょう

「子育て」や「デジタル生活」の主観データに差がある

会津若松市



境町



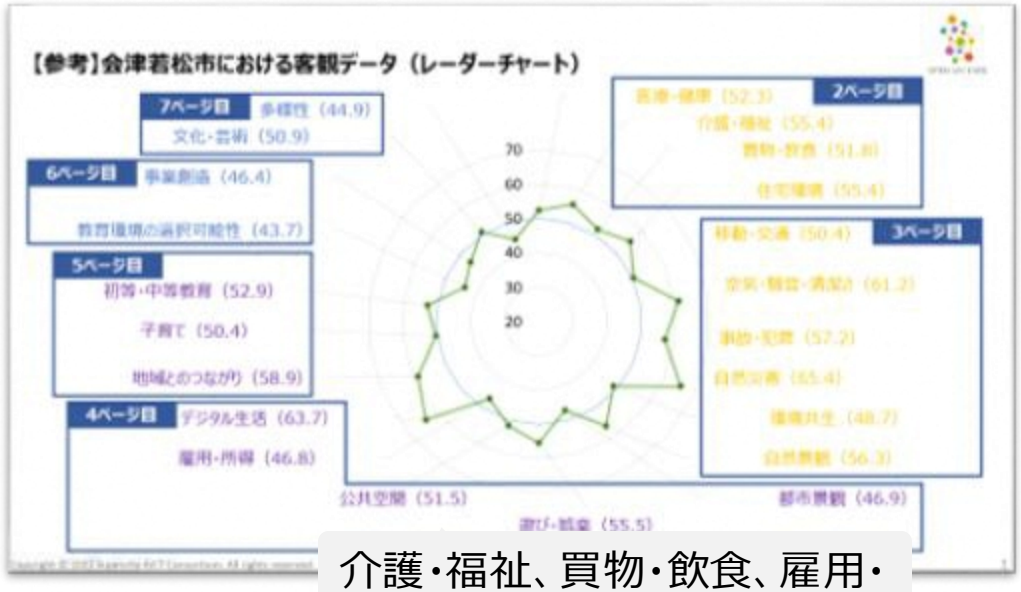
レーダーチャートの全体的な大きさやバランスに違いがある

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク①：課題を特定する（ステップ１）

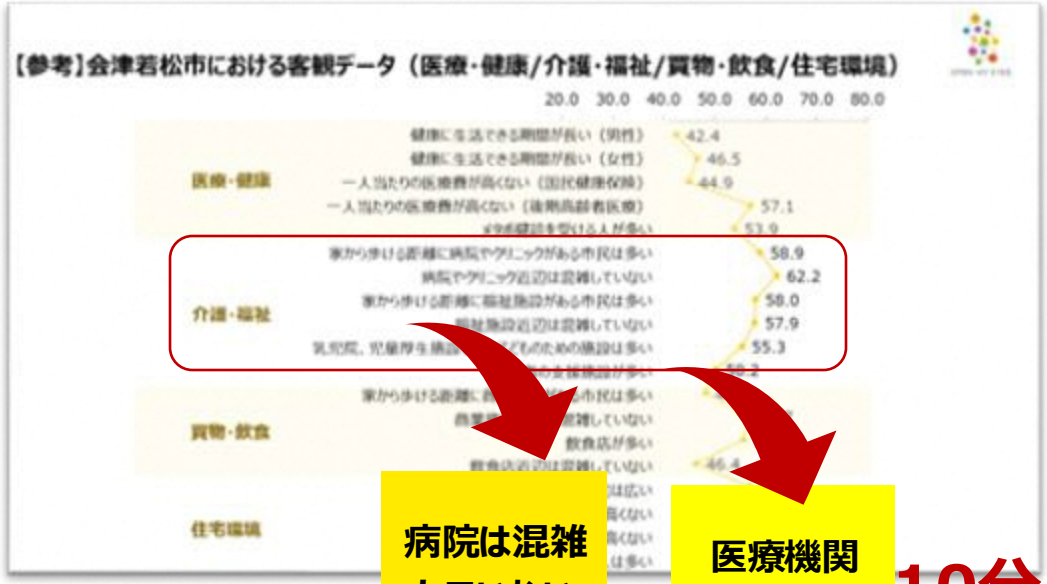
【個人ワーク】
A) レーダーチャート上の24項目のうち、特に重要・解決すべき課題があると思う項目を2～3個選択する
B) それぞれの項目の詳細指標のデータを読みながら、会津若松市の強み・弱みを付箋に書き出す

- まずは、**レーダーチャート**を眺めて、特に重要・解決すべき課題があると思う項目を**一人2～3個**選ぶ



介護・福祉、買物・飲食、雇用・所得が課題に感じるなあ…

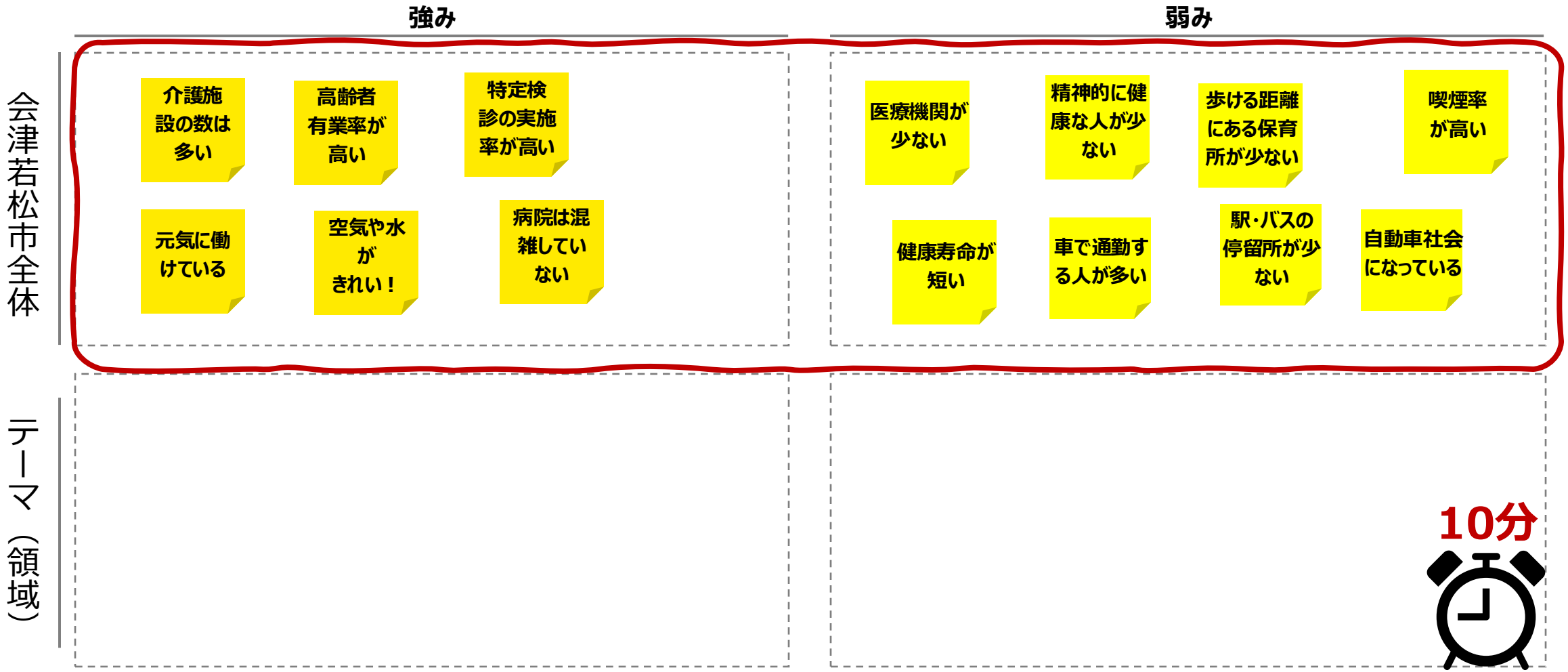
- 選んだ項目に**紐づく詳細指標**の結果から読み取れる会津若松市の強み・弱みを付箋に書き出す



Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク①：課題を特定する（ステップ１）

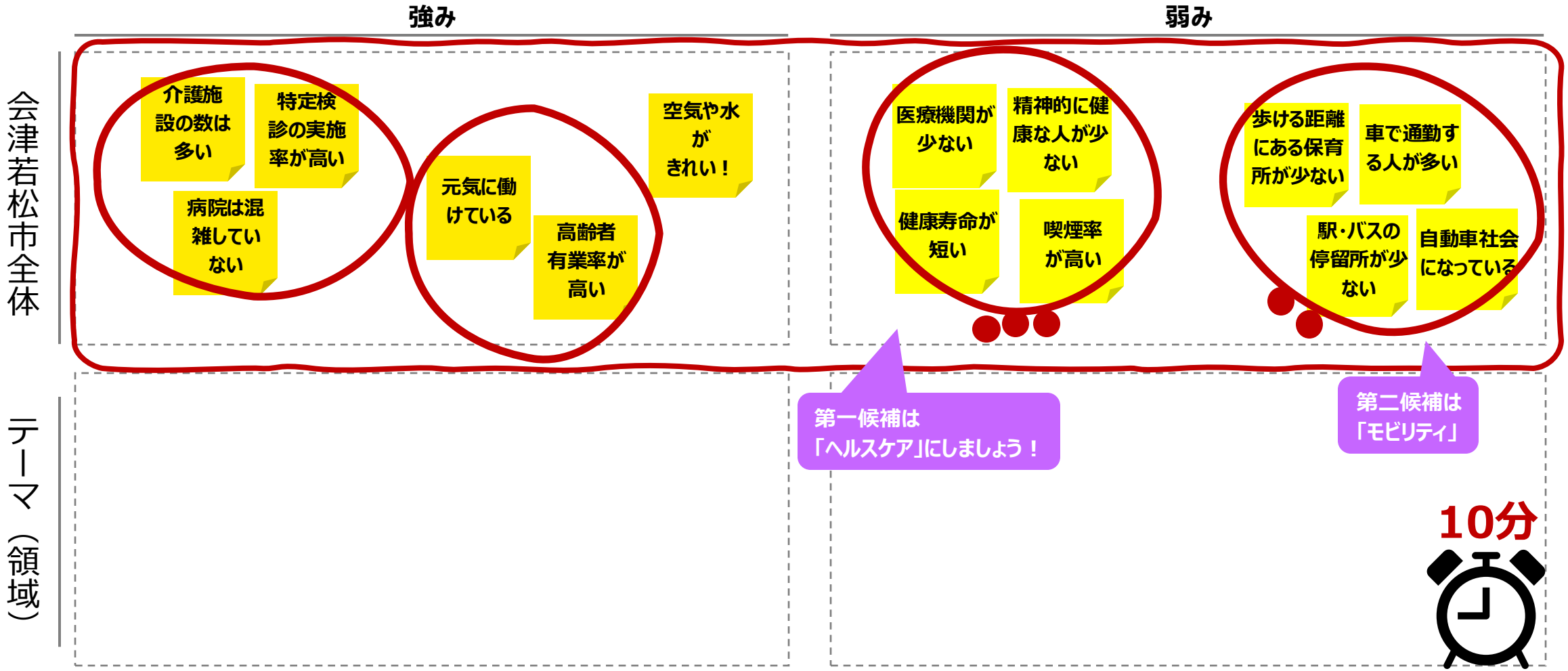
【グループワーク】
C) 書き出した付箋を、一枚の模造紙に貼り出していく
※模造紙は「強み／弱み」と「会津若松市全体／テーマ（領域）」の4象限に区切る



Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク①：課題を特定する（ステップ１）

【グループワーク】
D) 貼り出した付箋を動かして、似ている強み・弱みをグルーピングする
E) グルーピングしたそれぞれのテーマ（領域）について、今日深掘りしたいと思うものに赤●シールを**２個/人**、貼りつける
F) テーマ（領域）の候補を各グループ2～3個出す ※テーマ（領域）例：ヘルスケア、エネルギー、農業、ふるさと納税 etc.



Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク①：課題を特定する（ステップ１）

OPEN MY EYES

全体共有

各グループの討議テーマを全体に共有頂きます。

どんな「強み・弱み」が挙がりましたか？
グループで討議したいテーマは何ですか？
そのテーマを深掘りしたい理由も教えてください。

5分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク①：課題を特定する（ステップ２）

【個人ワーク】グループのテーマ（領域）に関連する項目の詳細指標を見て、会津若松市の強み・弱みを付箋に書き出す
【グループワーク】書き出した付箋を模造紙に貼り出していく

	強み	弱み
会津若松市全体	介護施設の数は多い 高齢者有業率が高い 特定検診の実施率が高い 元気に働けている 空気や水がきれい！ 病院は混雑していない	医療機関が少ない 精神的に健康な人が少ない 歩ける距離にある保育所が少ない 喫煙率が高い 健康寿命が短い 車で通勤する人が多い 駅・バスの停留所が少ない 自動車社会になっている
テーマ（領域）（例：ヘルスケア）	病院は混雑していない	医療機関が少ない 健康寿命が短い

15分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク①：課題を特定する（ステップ３）

【グループワーク】
会津若松市にとって特に重要だと思う現状・課題に赤●シールをそれぞれ**2個/人**、貼りつける（弱みに限らない）
現状・課題のうち、2~3個選択する

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

②課題を分析し、あるべき状態を描く

OPEN MY EYES

- 課題を分析（深堀）し、**デジタルの活用余地**を探る
  - ➢ ステップ１：AIも活用し、ワーク①で特定した現状・課題による**“影響”**を複数挙げる
    - ✓ 要因⇒影響という矢印の向きをイメージして記載する
    - ✓ 異なる政策領域に属すると思う要因も気にせずあげていく
    - ✓ 矢印でつないでいる中でループになったり、きれいな階層構造になったりしなくても良い

    ⇒とにかくたくさんの要素を書いて、矢印でつないでいったらOK
  - ➢ ステップ２：近い課題同士でグルーピングし、**「会津若松市がどうありたいか」**を相談して、ふせんに書きだす
    - ✓ 既存の取組みやデジタルを活用し課題を解決した先にあるべき状態（目指す街の姿）を言語化する

      ※ この段階での課題解決の手段（解決案）の検討は不要
    - ✓ 新たに気づいた課題などを追加しても良い

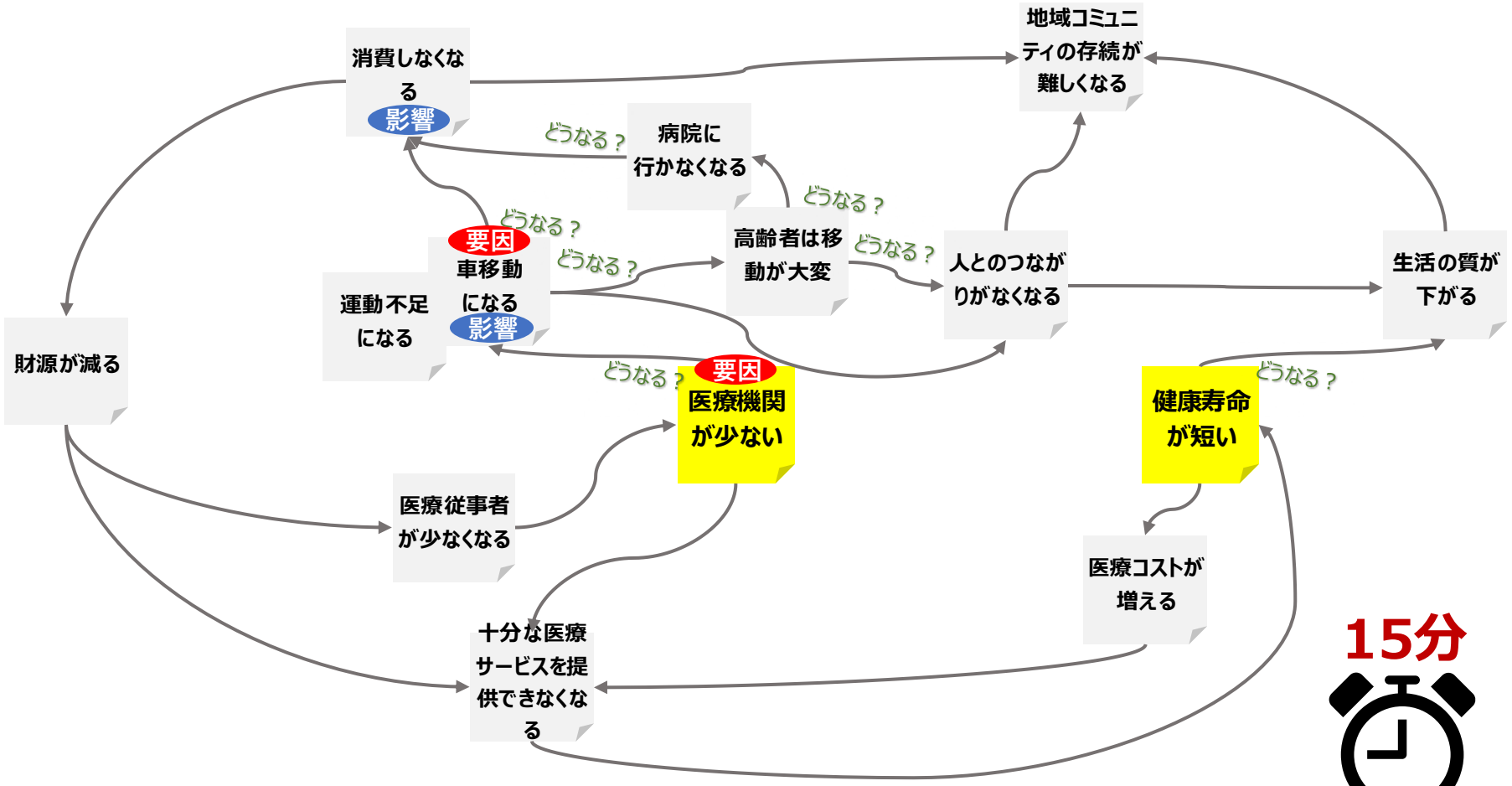
Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク②：課題を分析し、あるべき状態を描く（ステップ１）

【グループワーク】
A）ワーク①で特定した現状・課題（重要だと丸をつけた付箋の記載内容）を、別の模造紙に新たに貼り出す
B）課題に対して、考えられる要因と影響を書き出し、因果関係を線で結ぶ ※AIも活用する（「どうなる？」は記載しなくてOK）

地方において、医療機関が少ないことで、どのような影響が考えられますか

医療機関が少ないことで、以下のような影響が生じると考えられます…

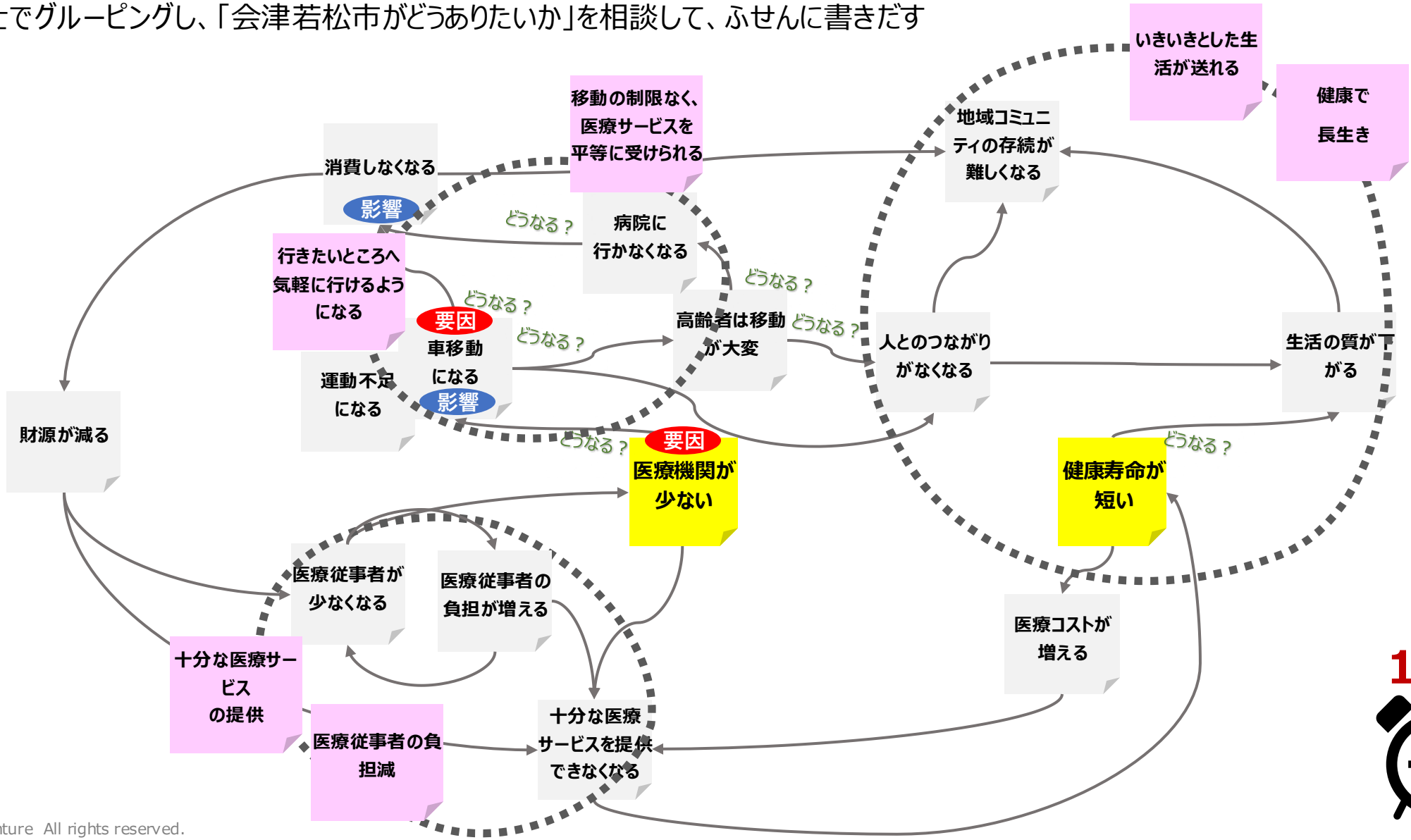


15分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク②：課題を分析し、あるべき状態を描く（ステップ２）

【グループワーク】
近い課題同士でグルーピングし、「会津若松市がどうありたいか」を相談して、ふせんに書きだす



15分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

OPEN MY EYES

休憩

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

③ AIを使った課題解決案の探求

- 会津若松市の課題とあるべき上とのギャップを埋めるために、既存取組みの洗い出しや、AIを活用して解決を図れるソリューション案のアイデアを得る
  - ステップ１：AIに会津若松市の現状・課題を学習させる
    - ✓ 解決すべき重要課題の情報をAIにインプットする
  - ステップ２：既存取組みの洗い出しや、AIにソリューション案のアイデアを出してもらいながら、サービスイメージを広げる
    - ✓ AIに課題解決を図るためのソリューション案を**複数**出してもらう
    - ✓ ソリューション案の洗い出しと併せ、既存の取組み（施策）も洗い出す
    - ✓ AIのソリューション案が現実的でない場合や、検討観点が抜けている場合にはその旨を指摘する

    ⇒より多くの案を検討し、より深く考察しましょう！
  - ステップ３：既存の取組みとAIのソリューション案を付箋にに書き出し、模造紙上に可視化する

ワーク③：AIを使った課題解決案の探求（ステップ１）

【グループワーク】
それぞれの分野における、解決すべき課題の情報をAIにインプットする（ワーク② ステップ２で丸を付けた課題）

会津若松市におけるヘルスケア分野の重要課題とそれで想定される影響は以下の通りです。学習してください。

重要課題：

- 医療機関が少ない
- 健康寿命が短い

それによる影響：

- 医療従事者が少なくなる
- 高齢者は移動が大変
- 車移動になる
- 人とのつながりがなくなる
- 医療従事者の負担が増える
- 地域コミュニティの存続が難しくなる
- 十分な医療サービスを提供できなくなる
- 生活の質が下がる
- 病院に行かなくなる

会津若松市におけるヘルスケア分野における重要課題とそれによる影響について学習しました。…

10分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク③：AIを使った課題解決案の探求（ステップ２）

【グループワーク】
A）課題を学習させたAIに、ソリューション案を複数出してもらう
B）併せて、既存の取組み（施策）も洗い出す

今まで学習した情報を踏まえて、ヘルスケア領域において会津若松市が実装すべきソリューション案をあげてください。

会津若松市におけるヘルスケア分野の課題に対するソリューションを、学習した情報を踏まえて以下に提案いたします。…

さらにAIと会話をしてみましょう！

会話のヒント

情報の追加

- 「既に遠隔医療サービスは導入されています」
- 「健康サポートアプリは○○アプリを使うことが好ましいと考えています」

制約条件の追加

- 「医療スタッフの育成は少子高齢化が進んでいるエリアの現状をふまると現実的ではありません」
- 「割引制度は予算がないため、簡単にはできません」

さらなる深堀

- 「シニア向け交通サービス」のアイディアが気になりました。より詳しくアイディアを教えてください」
- 「子どもも意識した交通サービス案をください」
- 「オンライン診療と健康サポートアプリの組み合わせが良いと考えています。組み合わせたアイディアをください」

15分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

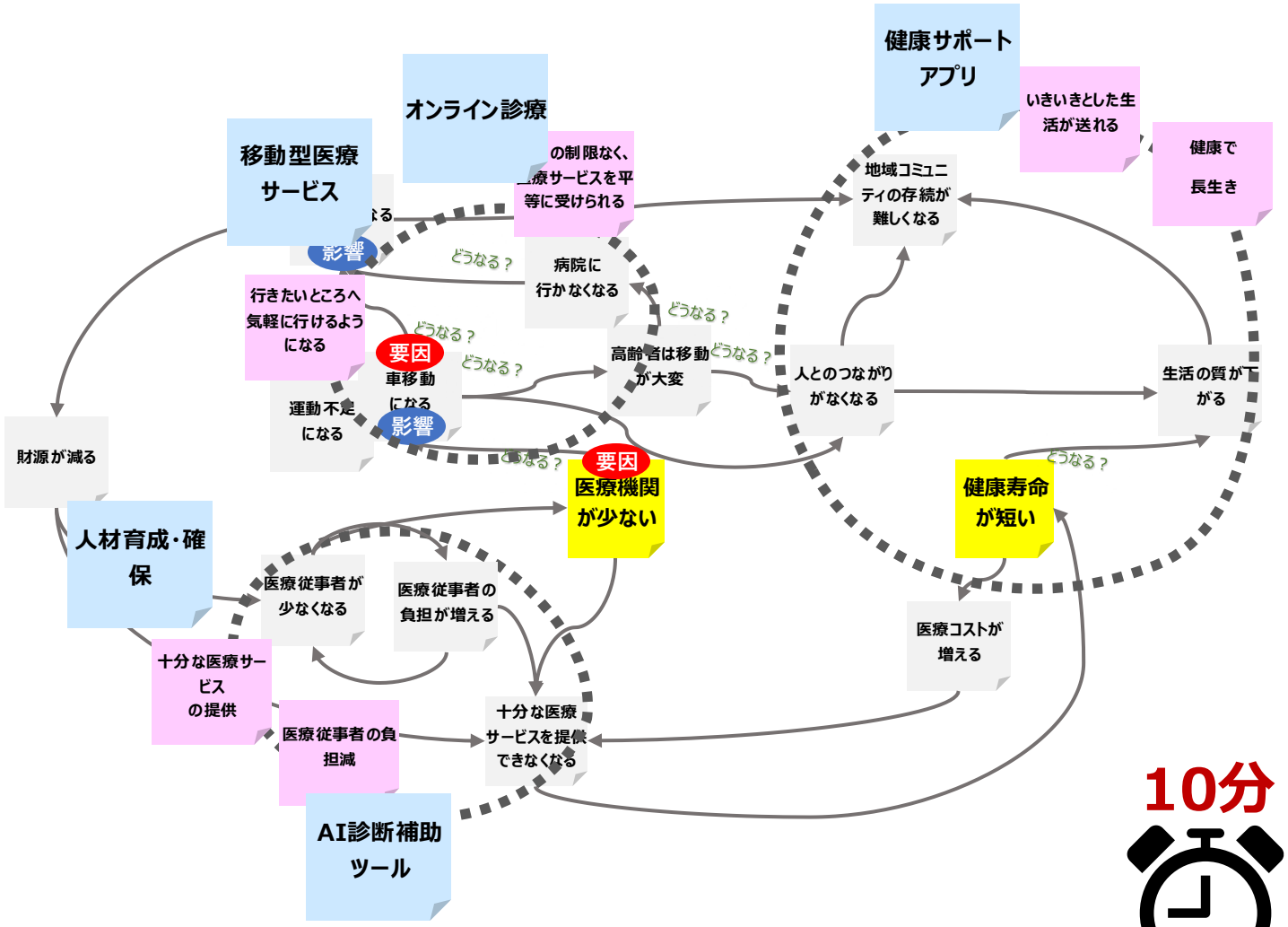
ワーク③：AIを使った課題解決案の探求（ステップ３）

【グループワーク】
AIのソリューション案で良いと思うサービスを付箋にメモし、模造紙に貼付する

今まで学習した情報を踏まえて、ヘルスケア領域において会津若松市が実装すべきソリューション案をあげてください。

会津若松市におけるヘルスケア分野の課題に対するソリューションを、学習した情報を踏まえて以下に提案いたします。

1. AIやICTを活用した医療業務の効率化：…
2. 遠隔医療の推進：…
3. 移動型医療サービスの導入：…
4. 地域に根ざした健康サポートアプリの開発：…
5. 地域間医療連携の強化：…



10分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

④「目指す街の姿」の提案書の作成

OPEN MY EYES

- AIへの質問やディスカッションを通し、「目指す街の姿」のイメージを固めて、提案書を作成する
  - ステップ１：検討したソリューション案や施策によって課題がどのように解決され、どのようにして「目指す街の姿」が実現されるか言語化する
    - ✓ AIと対話し、課題がソリューション案によって解決され、「目指す街の姿」が実現されるストーリーを検討する
  - ステップ２：提案内容を的確に表現するタイトル（キャッチコピー）と「目指す街の姿」のイメージを形にする
    - ✓ AIと対話し、タイトルやキャッチコピー、イメージ画像を作成する
    - ✓ （提案書フォーマットの格納先）https://drive.google.com/drive/folders/1CkceuTzT-aGV0i87Pcix_BH6c8qlKaLw

ワーク④：「目指す街の姿」の提案書の作成（ステップ１）

【グループワーク】

A） 検討した「あるべき状態」（ワーク②ステップ2）と「課題」（ワーク①ステップ3）を入力する（**指定のPPTフォーマット**に記載してください）

B） 検討したソリューション案や施策（ワーク③）によってどのようにして「目指す街の姿」が実現されるかを、「課題解決アプローチ」に入力する（AIと対話し課題解決方法を示す）

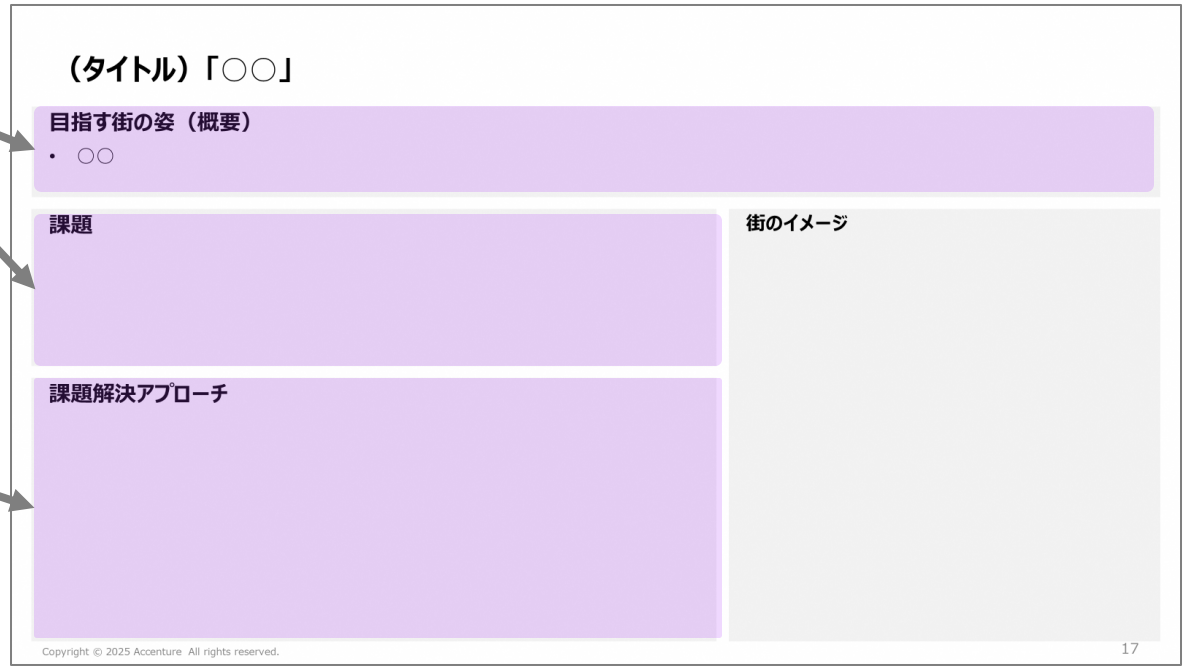
A）「目指す街の姿」と「課題」を入力

※適宜アップデート・AIと対話してアップデートしてOK

医療機関が少ない　健康寿命が短い　行きたいところへ気軽に行けるようになる　いきいきとした生活が送れる　健康で長生き　・・・

B）「施策」や「課題解決アプローチ」を入力

人材育成・確保　健康サポートアプリ　AI診断補助ツール　オンライン診療　移動型医療サービス　・・・



（提案書フォーマットの格納先）

20250214_WS提案書フォーマット提出フォルダ

「課題解決アプローチ」作成の質問のヒント

- **ソリューションを実行するための具体的なアクションを示してください。**
- **課題に対するソリューションの妥当性を評価してください。**
- **予想される障害とその対策は何でしょうか。**

15分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

ワーク④：「目指す街の姿」の提案書の作成（ステップ２）

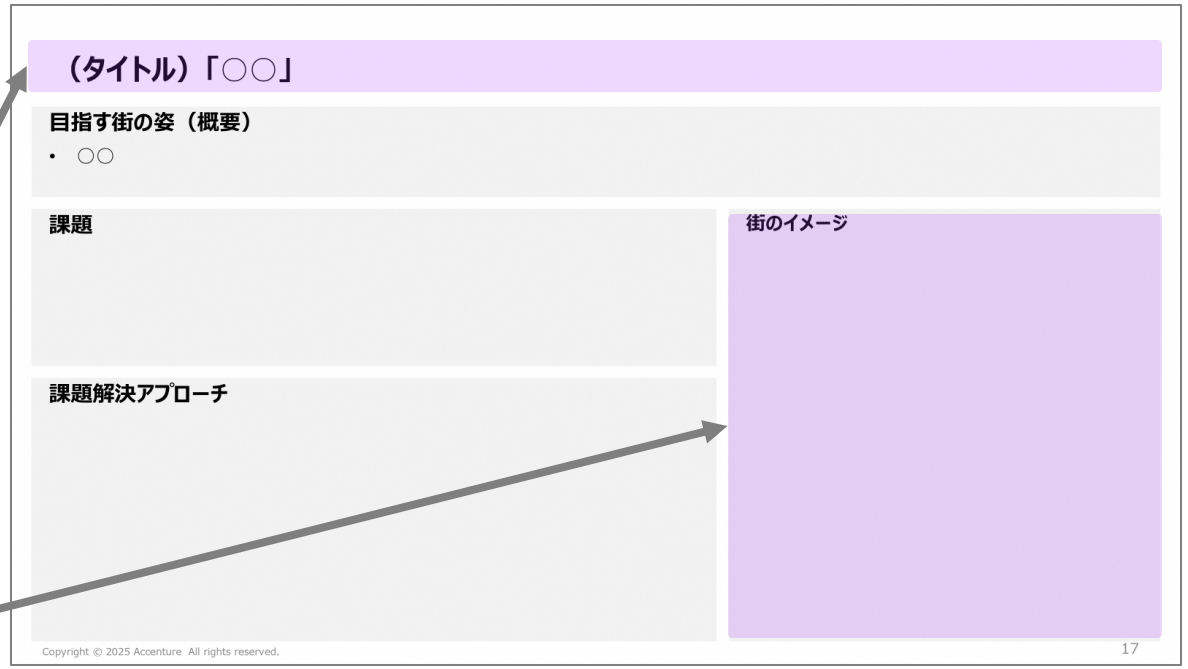
【グループワーク】
A） 提案のタイトルやキャッチコピーについてAIにアイデアを出してもらう
B） イメージ画像をAIに作成してもらい、PPTフォーマットにイメージを貼付する

タイトル/キャッチコピーの質問のヒント

- 会津若松市らしさを踏まえたキャッチコピーを考えてください。
- もっと市民の生活要素を追加してください。
- もっとポップなキャッチコピーを考えてください。

イメージ画像作成の質問のヒント

- 街のイメージ画像を作成してください。
- ソリューション「○○」を強調してください。
- もっとデジタルを意識してください。



（提案書フォーマットの格納先）

20250214_WS提案書フォーマット提出フォルダ

15分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

「スマイルケアシティ」

OPEN MY EYES

目指す街の姿（概要）

- 地域密着型の医療と福祉が連携し、住民全員が笑顔で暮らせる街
- 高齢者や交通弱者を含む全ての住民が健康で幸福に暮らせる街

課題

- 医療機関が少ない
- 健康寿命が短い

課題解決アプローチ

移動型医療サービスとオンライン診療による課題解決

- 医療機関が少ない地域に対して「移動型医療サービス」と「オンライン診療」を導入する。
- 移動型医療サービスは、医療車両を用いて定期的に地域を巡回し、直接医療サービスを提供。オンライン診療は、インターネットを通じて遠隔地からでも医師の診察を受けられるようにし、アクセスの向上を図る。
- これにより、医療アクセスの改善と健康寿命の延伸を目指す。

街のイメージ

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

（タイトル）「○○」

OPEN MY EYES

目指す街の姿（概要）

- ○○

課題

課題解決アプローチ

街のイメージ

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

全体説明・発表・ディスカッション

OPEN MY EYES

全体共有

各グループの討議結果を全体に共有頂きます。

40分

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

閉会挨拶

OPEN MY EYES

OPEN MY EYES

お疲れ様でした！

懇親会にご参加の方は、あゆむCaféにお越しください

懇親会

18:00～

Copyright © 2025 Accenture All rights reserved.

（参考）配布資料/LWCI

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

Well-Being指標
（LWCI）

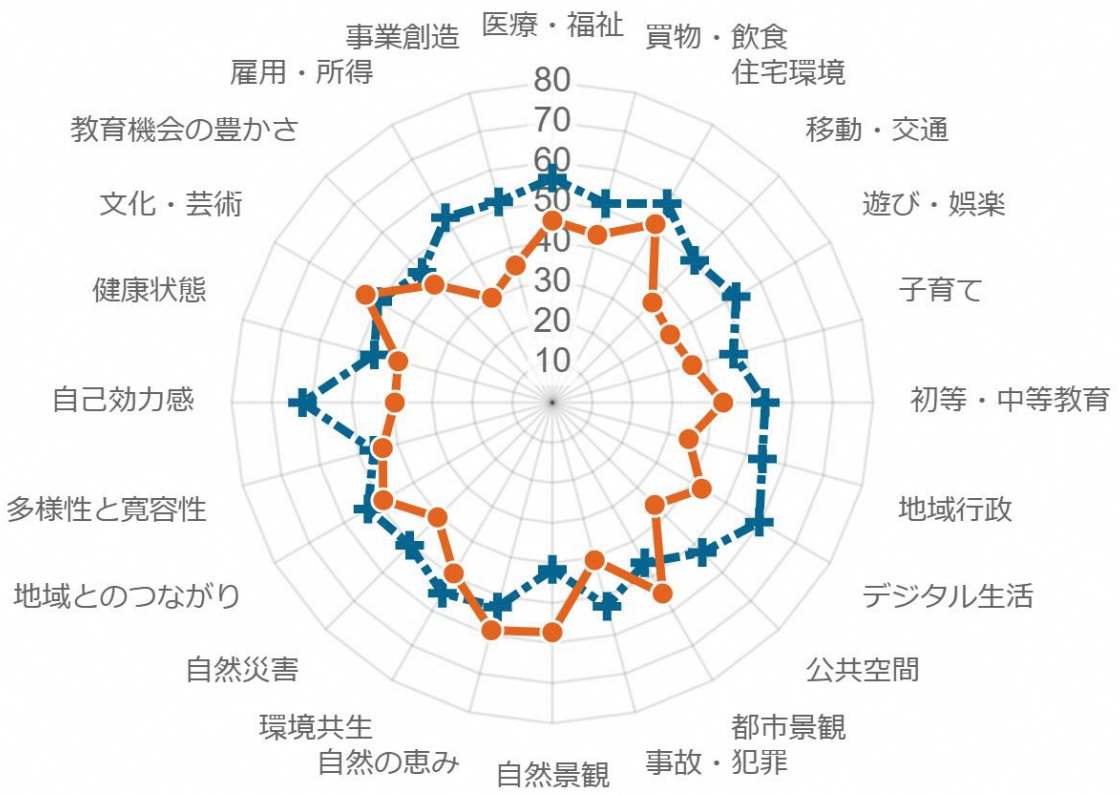
会津若松市

会津若松市

レーダーチャート（カテゴリー別指標）

OPEN MY EYES

カテゴリー別

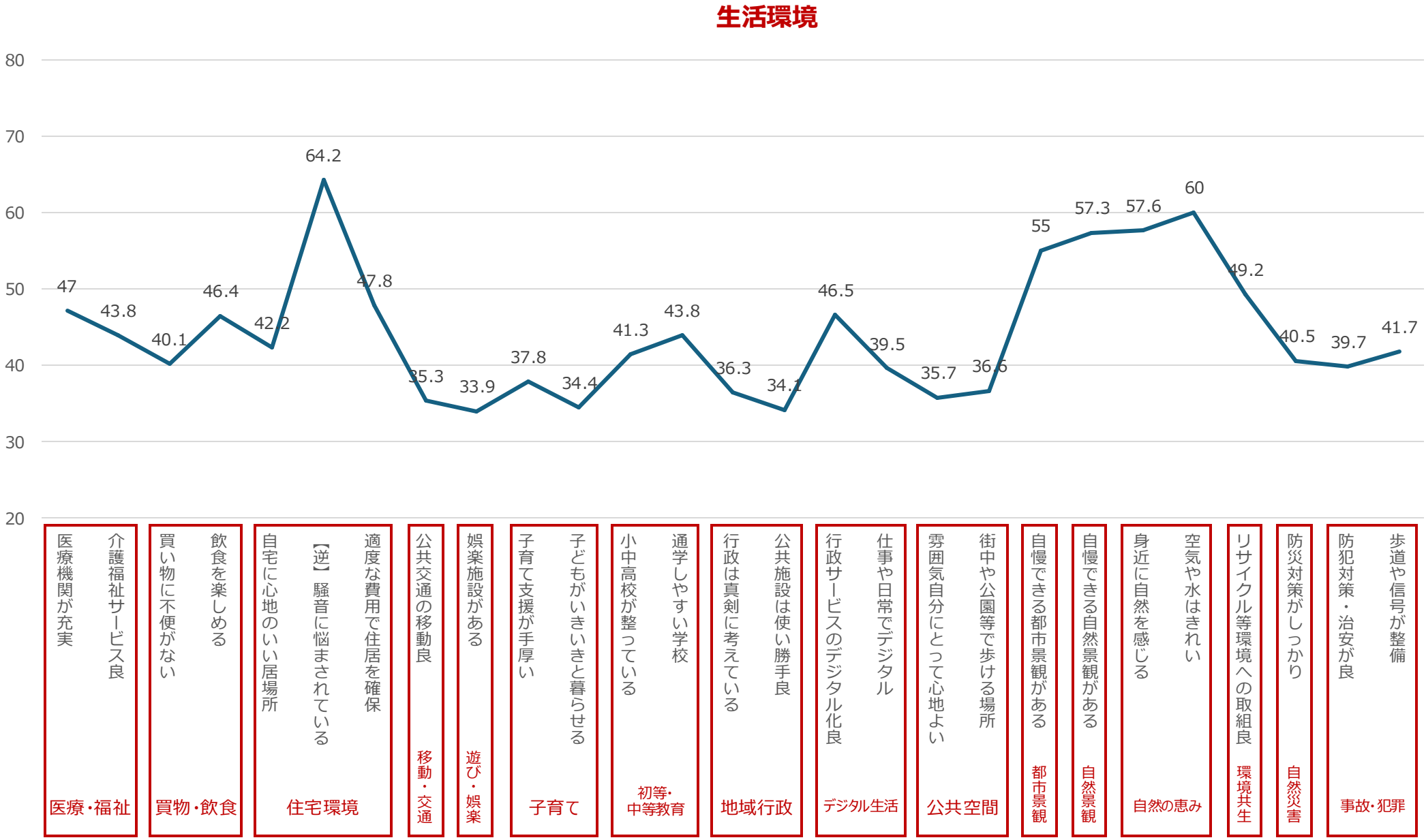


【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

	カテゴリ・評価指標	主観データ偏差値	客観データ偏差値
生活環境	医療・福祉	45.4	56
	買物・飲食	43.3	51.4
	住宅環境	51.4	57.3
	移動・交通	35.3	50.2
	遊び・娯楽	33.9	52.9
	子育て	36.1	46.8
	初等・中等教育	42.6	53.1
	地域行政	35.2	54.2
	デジタル生活	43	59.6
	公共空間	36.1	52.9
	都市景観	55	46.1
	事故・犯罪	40.7	52.6
	自然景観	57.3	41.6
	自然の恵み	58.8	52.8
	環境共生	49.2	54.9
	自然災害	40.5	50.3
地域の人間関係	地域とのつながり	48.7	53.1
	多様性と寛容性	43.8	46.1
自分らしい生き方	自己効力感	39.3	62.3
	健康状態	39.8	46
	文化・芸術	53.8	50.3
	教育機会の豊かさ	41.6	46
	雇用・所得	30.2	53.3
	事業創造	35.4	51.8

会津若松市

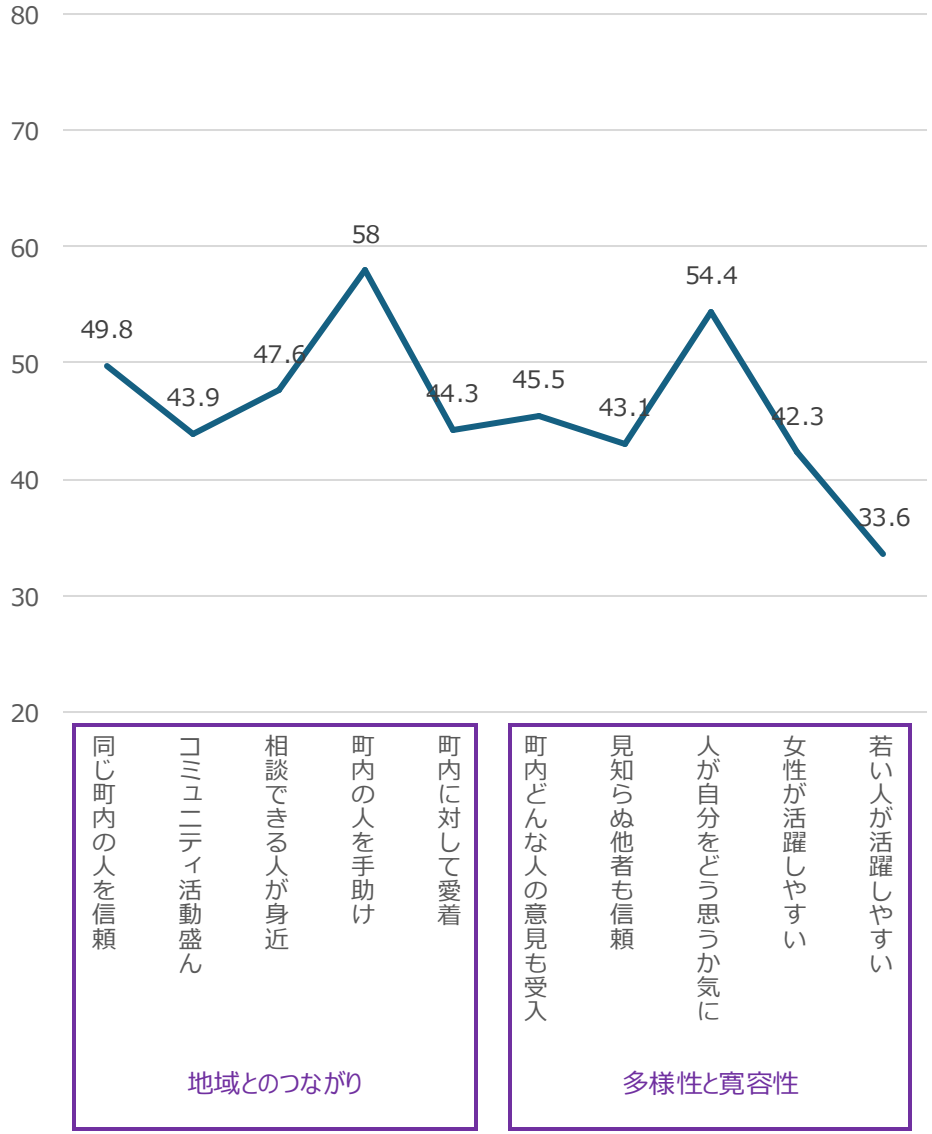
詳細指標（主観データ）①



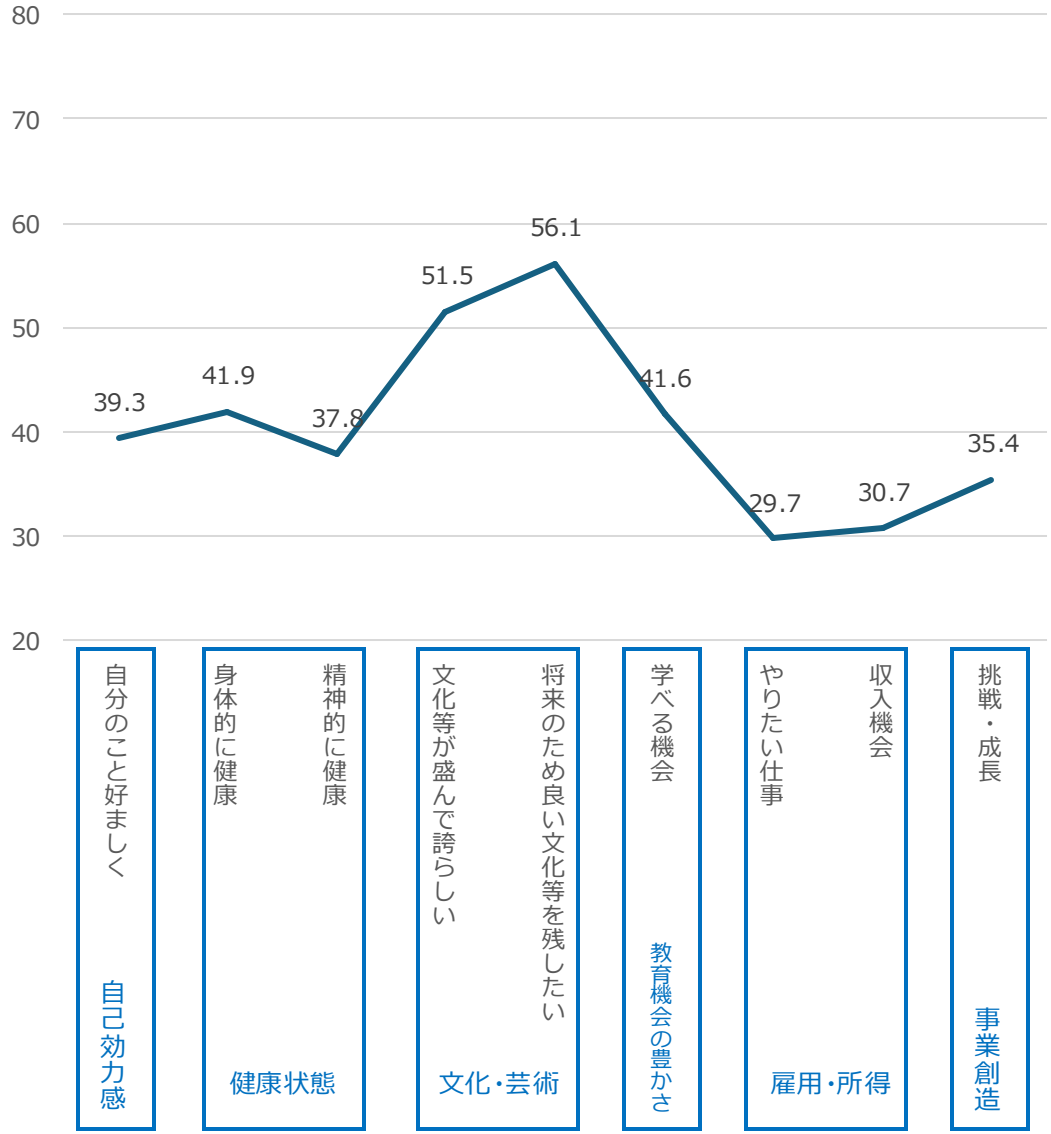
会津若松市

詳細指標（主観データ）②

地域の人間関係

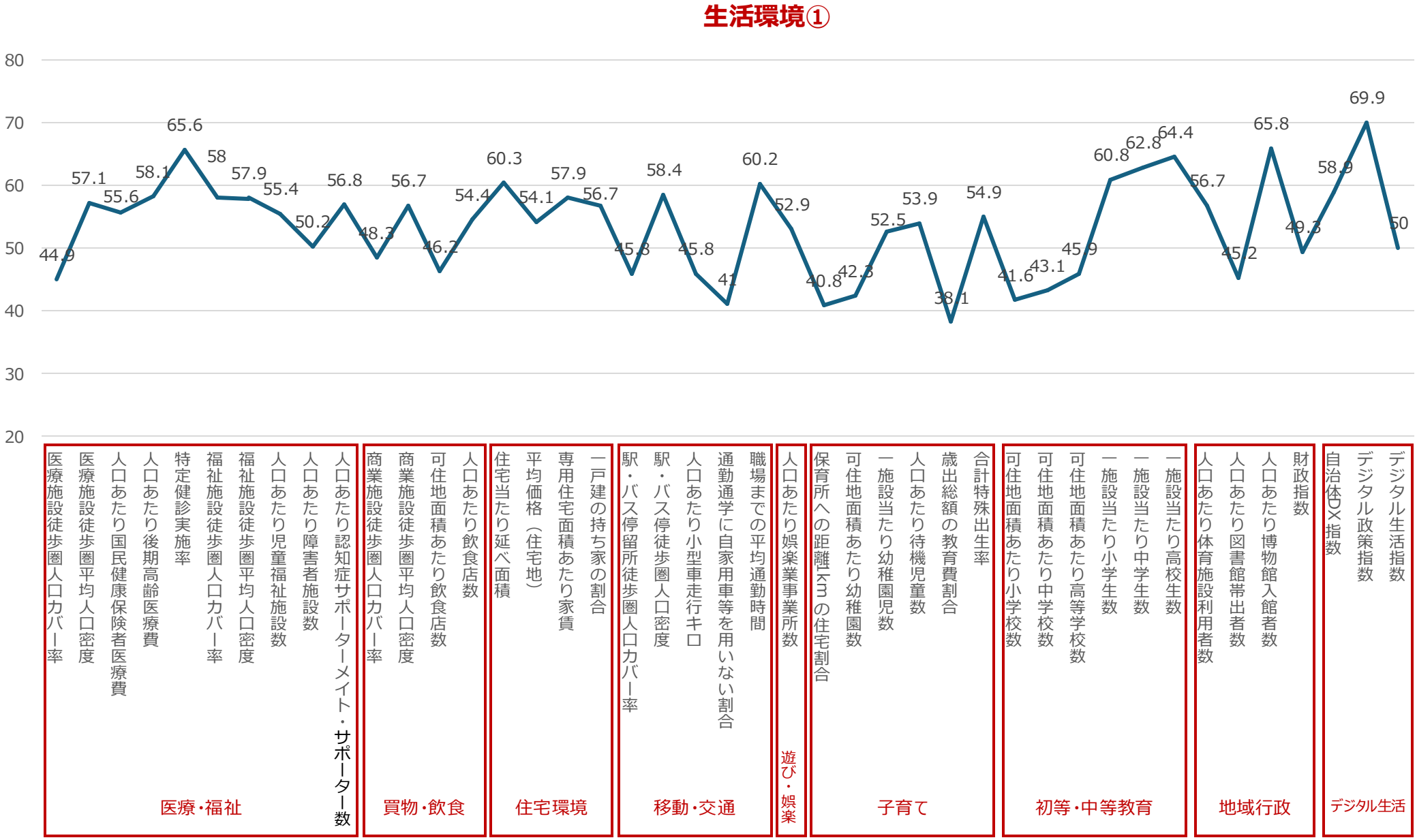


自分らしい生き方



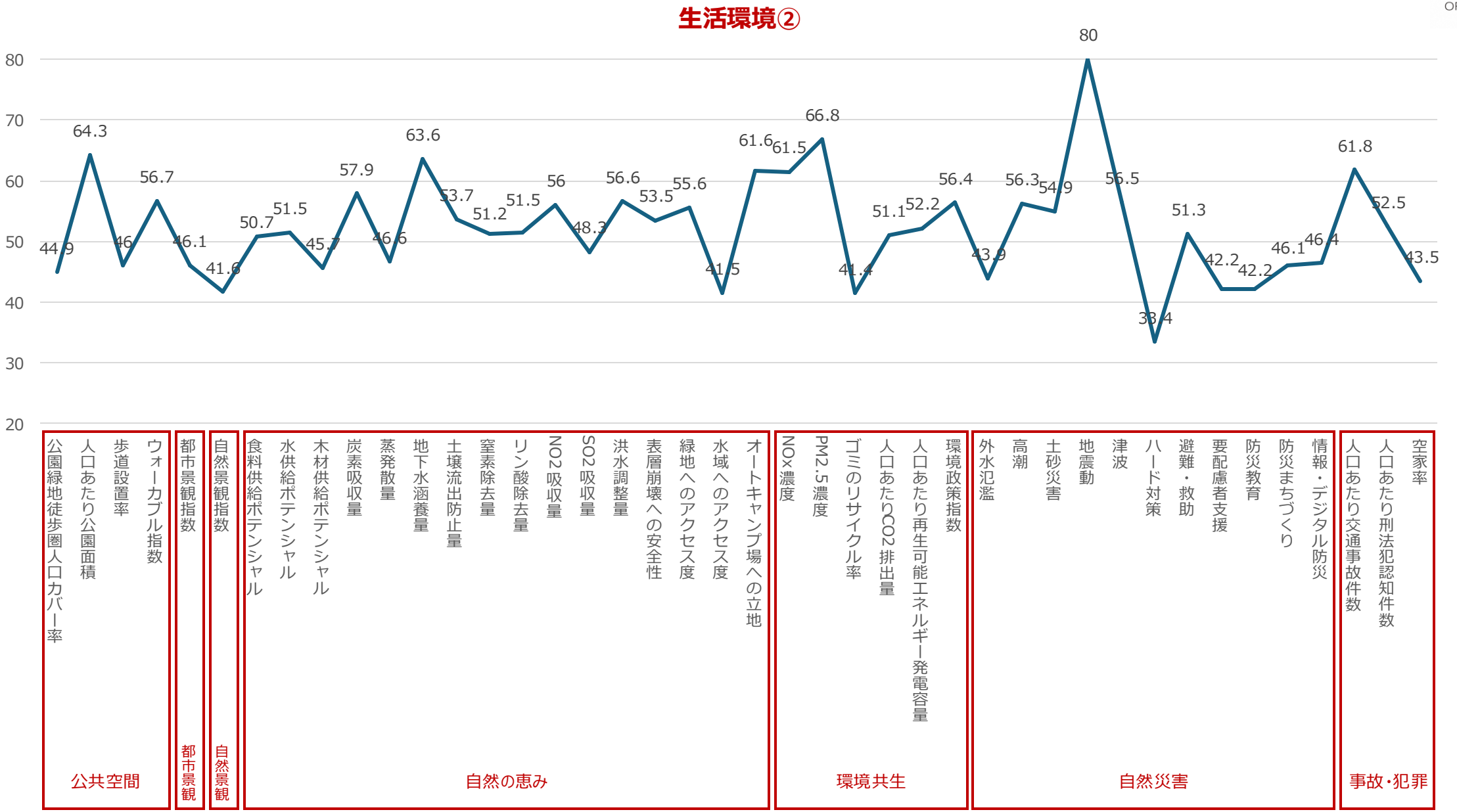
会津若松市

詳細指標（客観データ）①



会津若松市

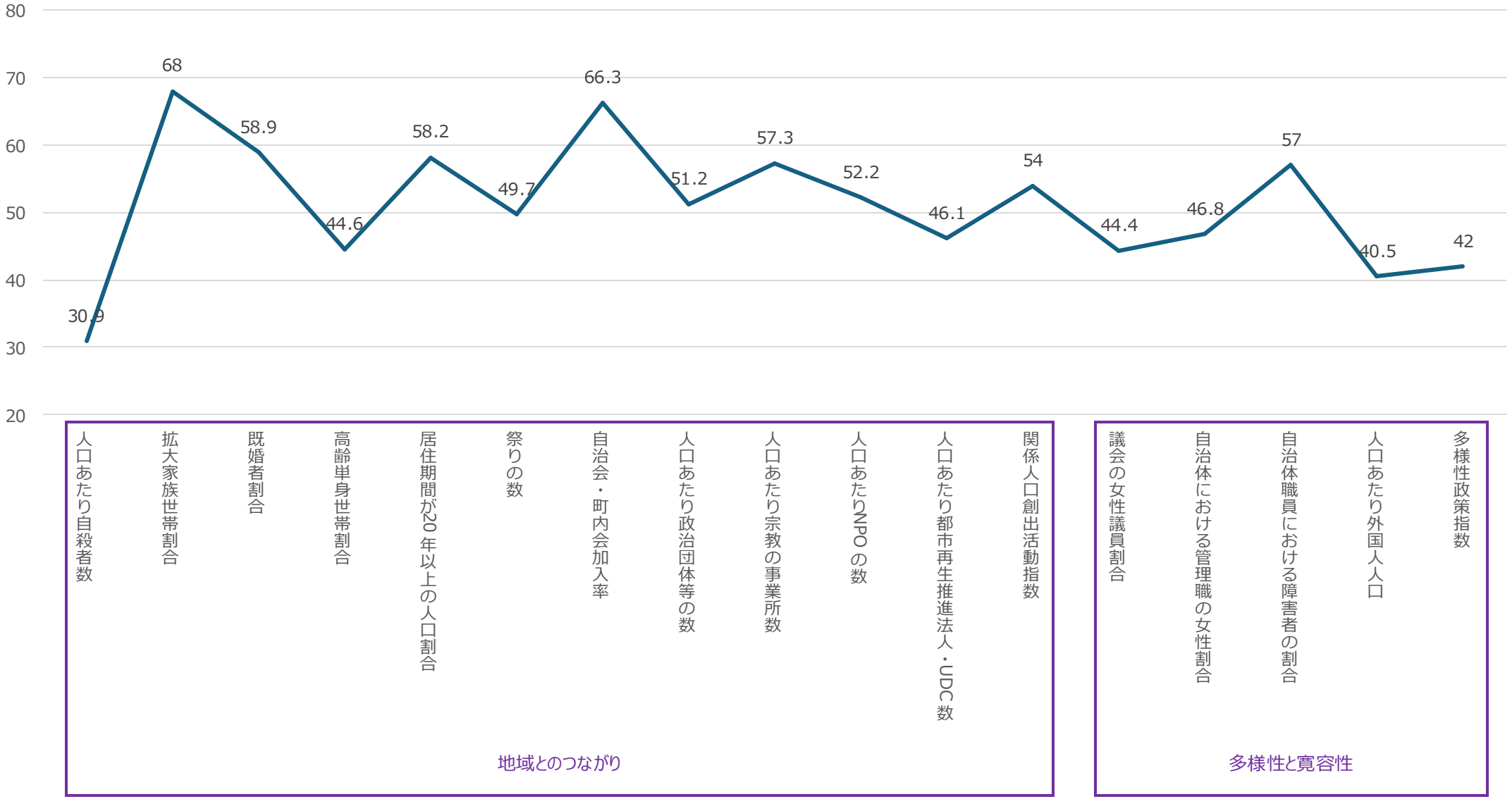
詳細指標（客観データ）②



会津若松市

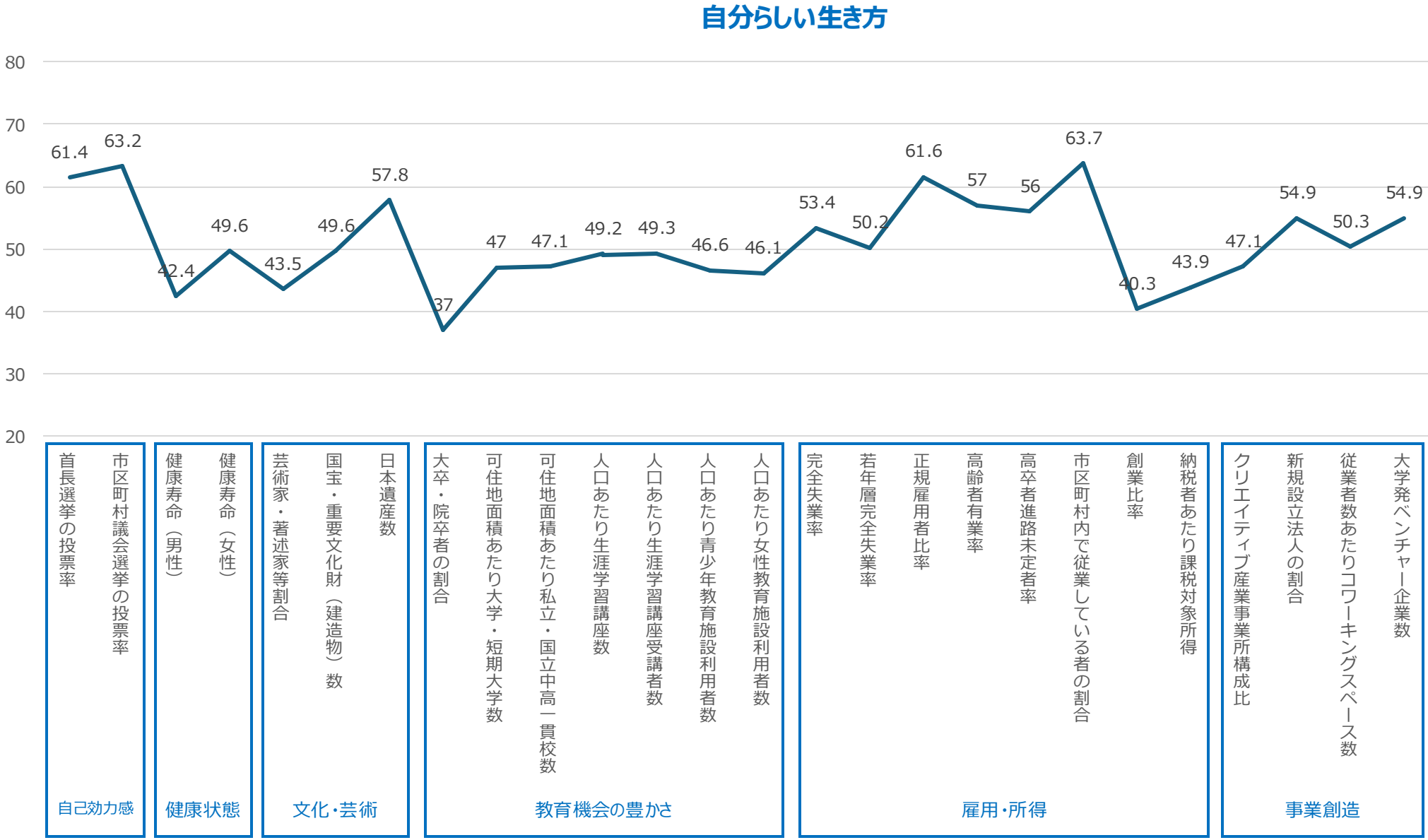
詳細指標（客観データ）③

地域の人間関係



会津若松市

詳細指標（客観データ）④



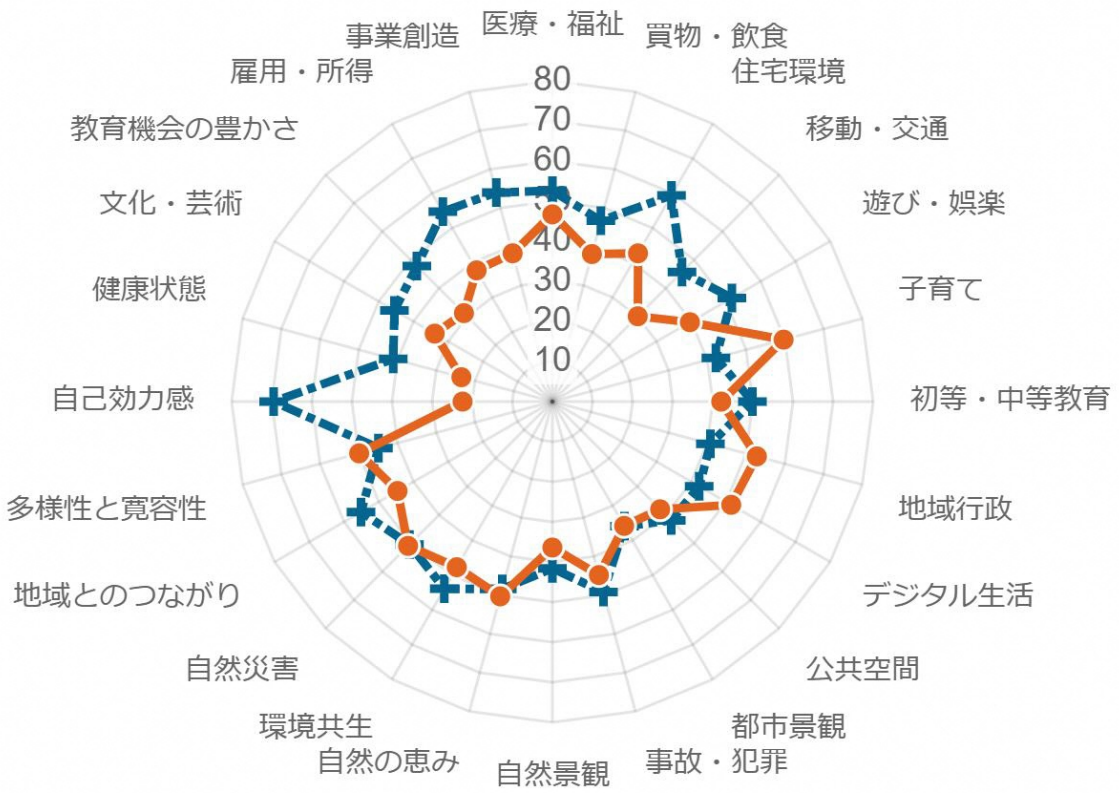
Well-Being指標
（LWCI）

境町

境町

レーダーチャート（カテゴリー別指標）

カテゴリー別



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

	カテゴリ・評価指標	主観データ偏差値	客観データ偏差値
生活環境	医療・福祉	46.7	52.6
	買物・飲食	38.1	46.7
	住宅環境	42.7	59.4
	移動・交通	30.1	45.7
	遊び・娯楽	39.6	51.7
	子育て	59.7	42.2
	初等・中等教育	42.1	49.9
	地域行政	52.8	40.8
	デジタル生活	51.5	42.3
	公共空間	38	41.9
	都市景観	35.8	35.9
	事故・犯罪	44.8	49.2
	自然景観	36.4	41.6
	自然の恵み	50.3	48.4
	環境共生	47.7	53.9
	自然災害	50.9	50.4
地域の人間関係	地域とのつながり	44.6	55.1
	多様性と寛容性	49.9	44.9
自分らしい生き方	自己効力感	22.4	69.5
	健康状態	23.5	41.1
	文化・芸術	33.9	45.5
	教育機会の豊かさ	31.2	47.8
	雇用・所得	37.8	54.7
	事業創造	38.3	54

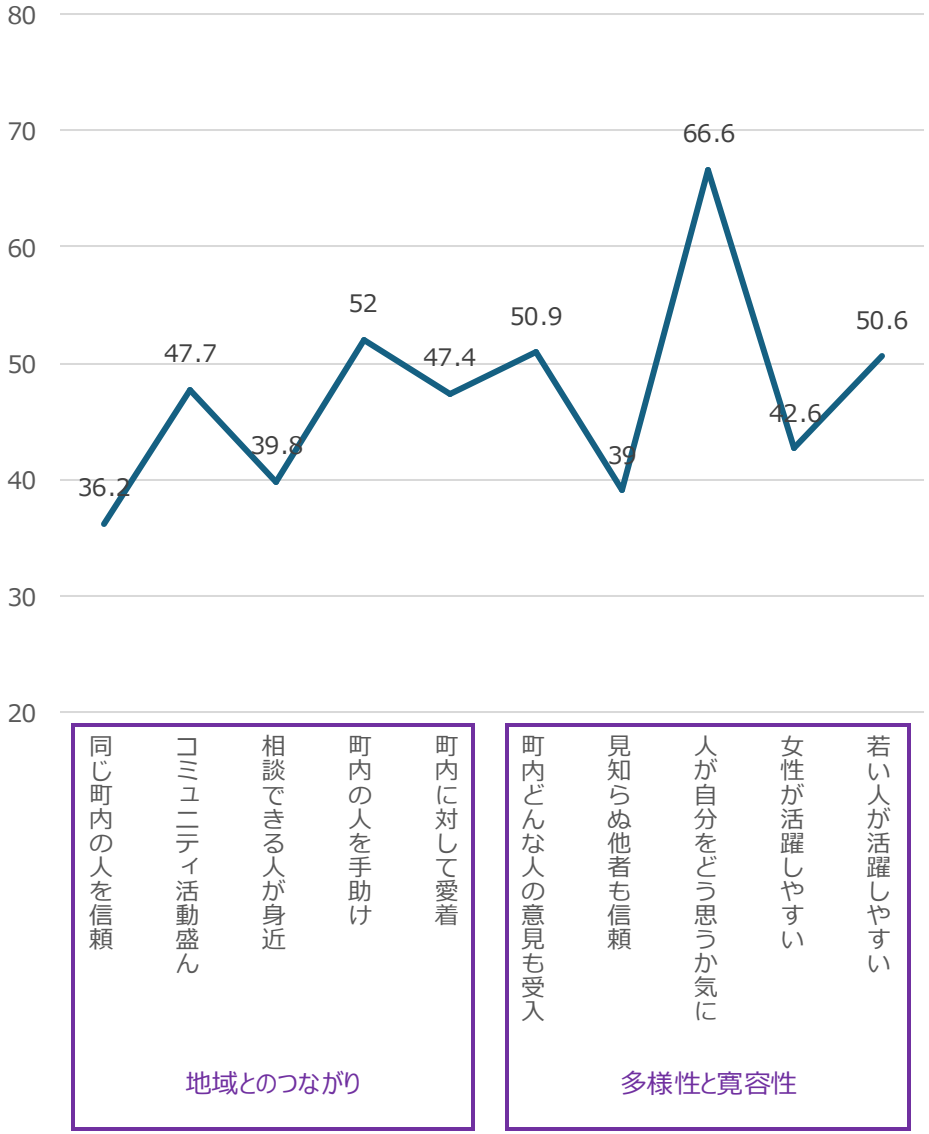
境町

詳細指標（主観データ）①

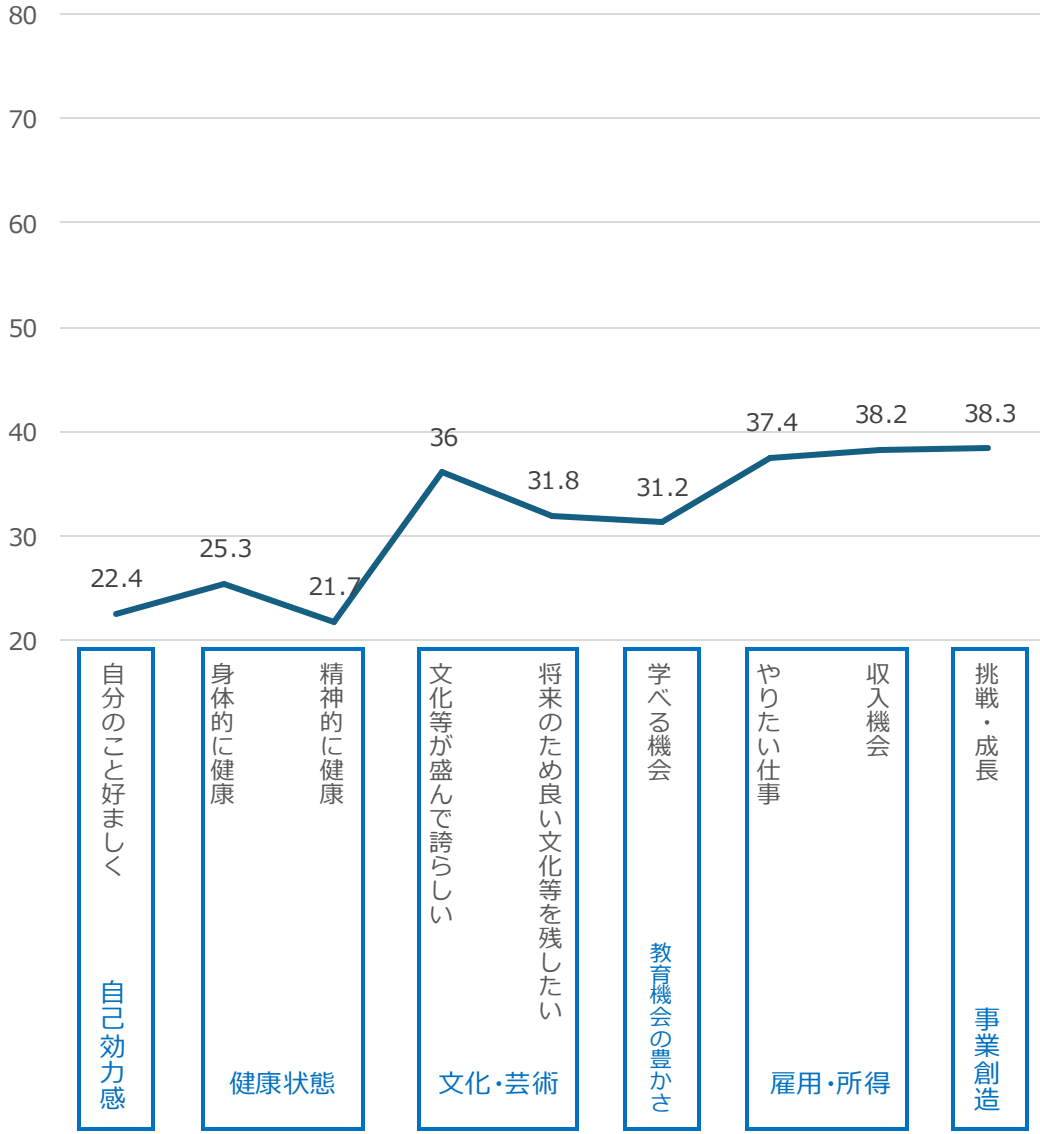
境町

詳細指標（主観データ）②

地域の人間関係

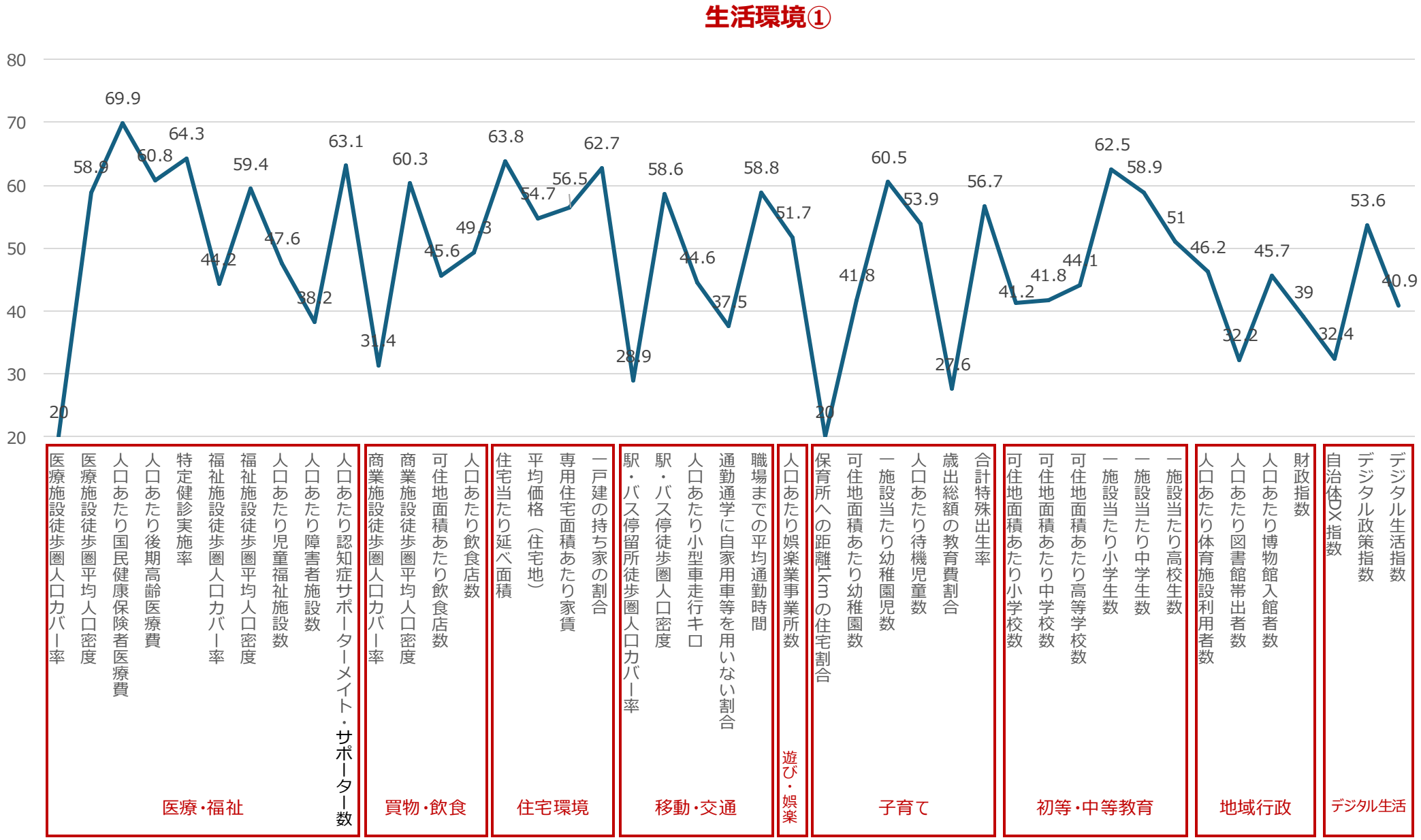


自分らしい生き方



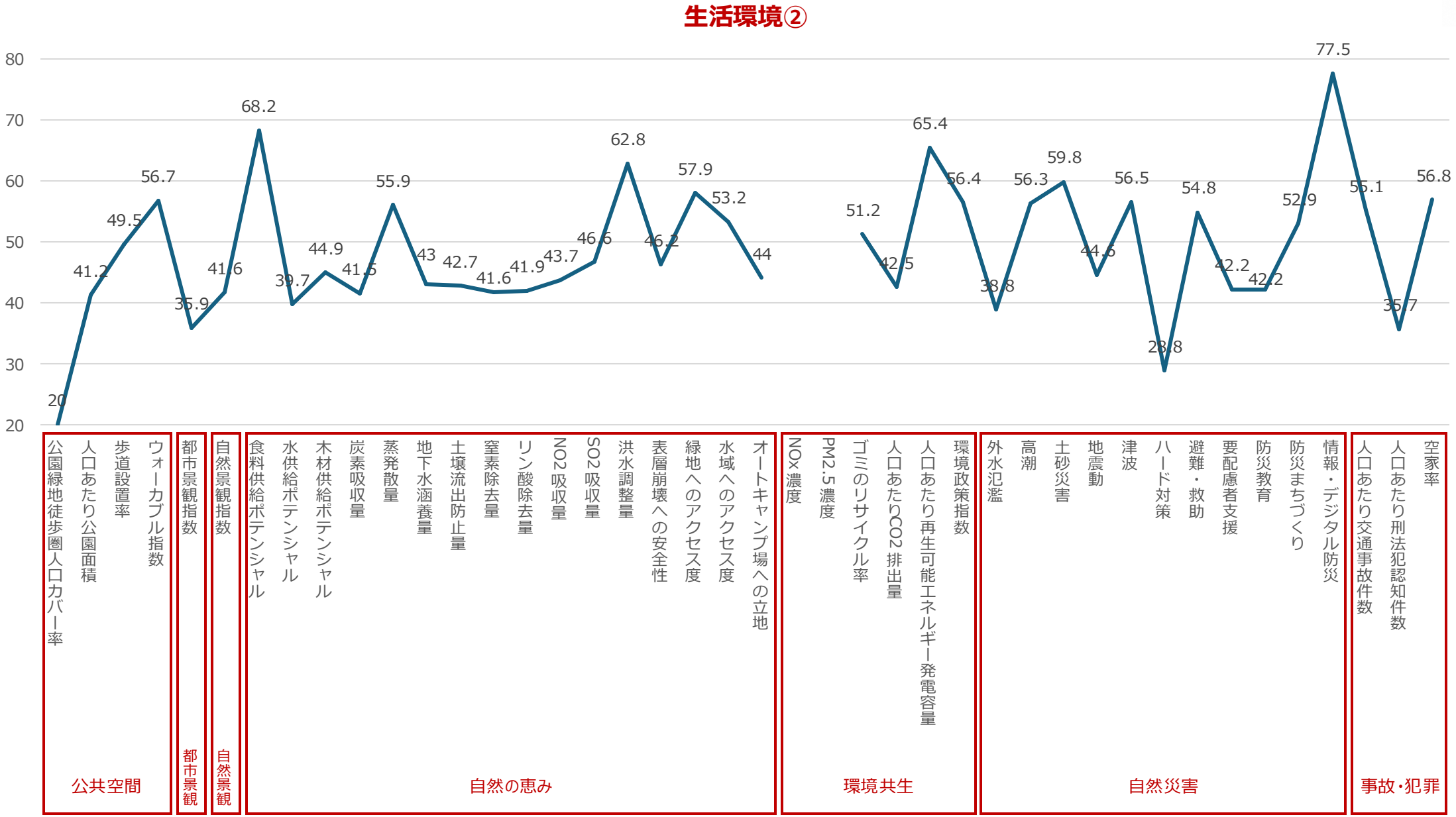
境町

詳細指標（客観データ）①



境町

詳細指標（客観データ）②



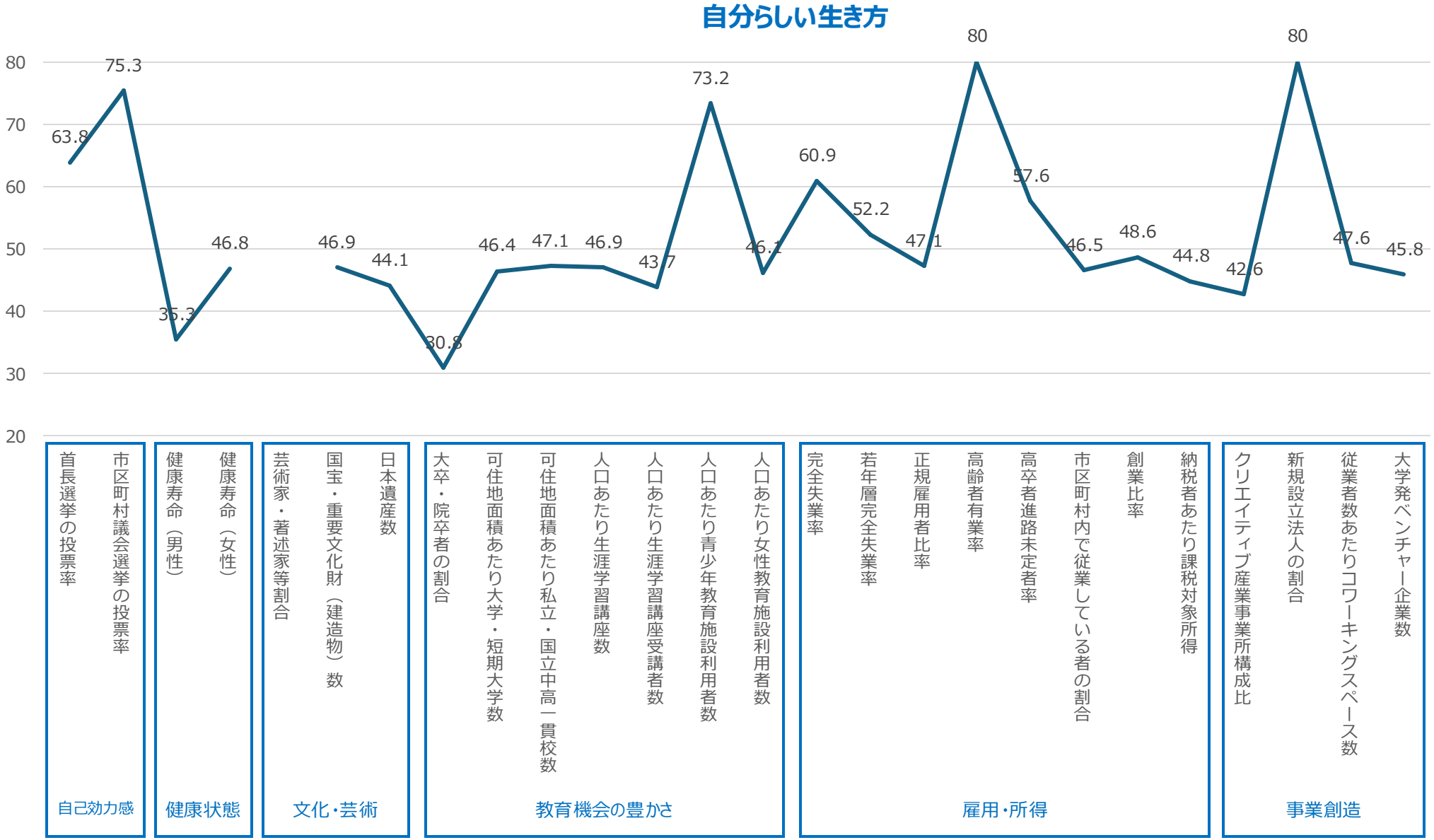
境町

詳細指標（客観データ）③

地域の人間関係

境町

詳細指標（客観データ）④



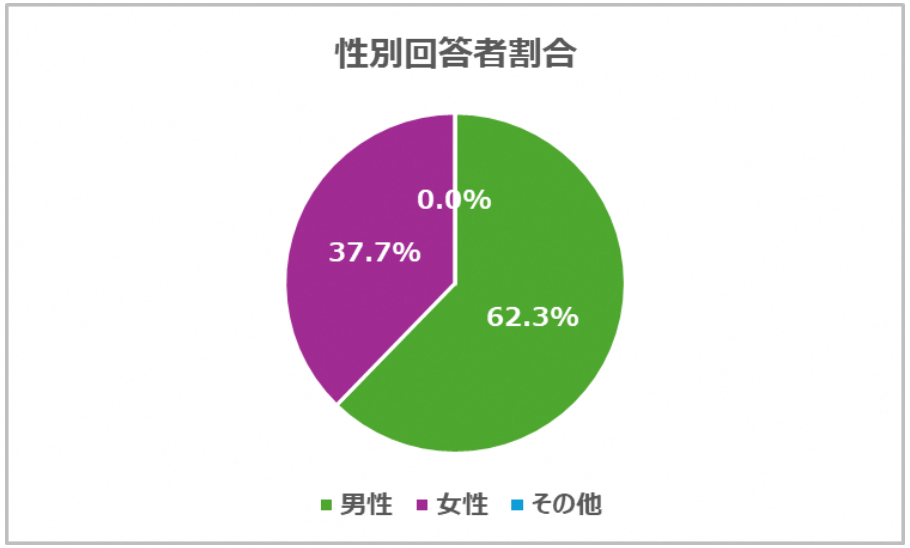
アンケートの実施

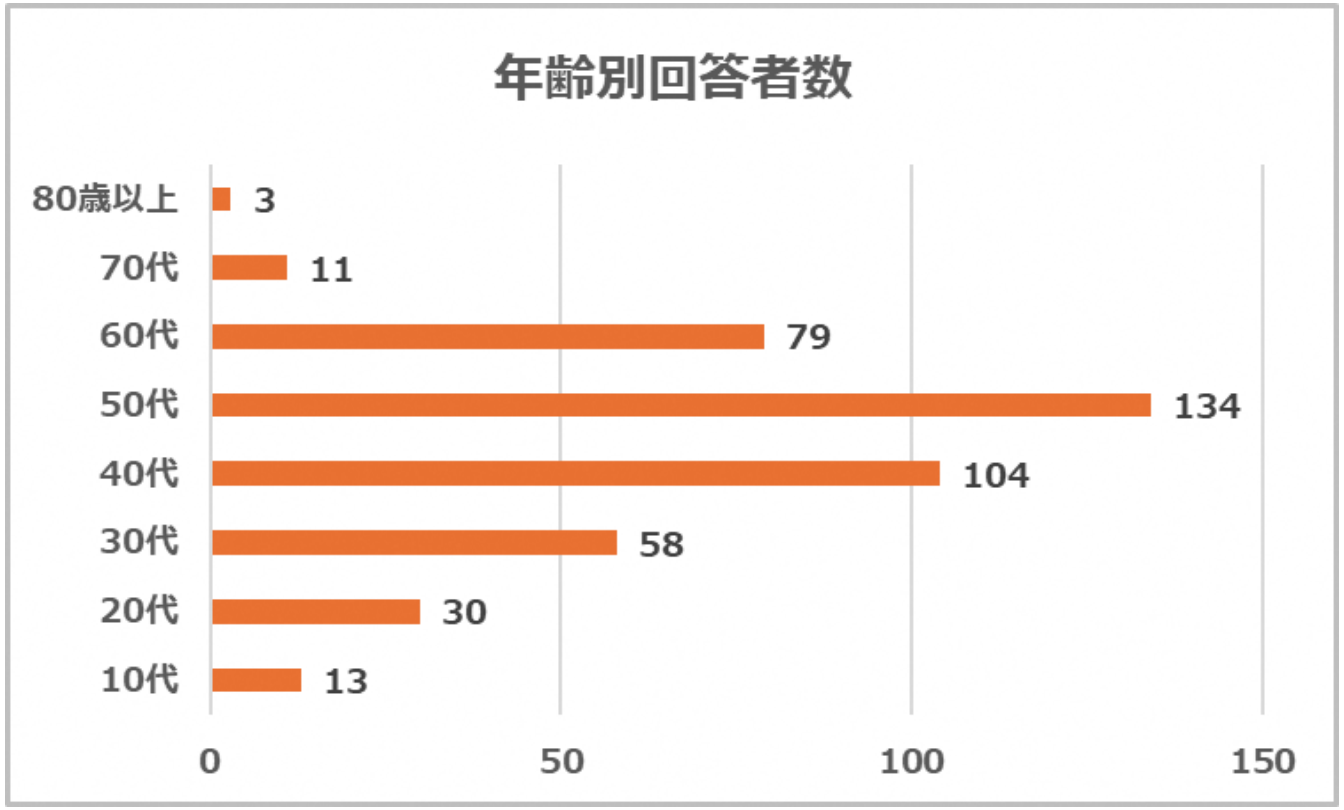
Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

アンケート回答者数・属性

会津若松市在住者を対象としたWebアンケートを実施した結果、10代~80歳以上まで432人からの回答が得られた。

回答者数
432人

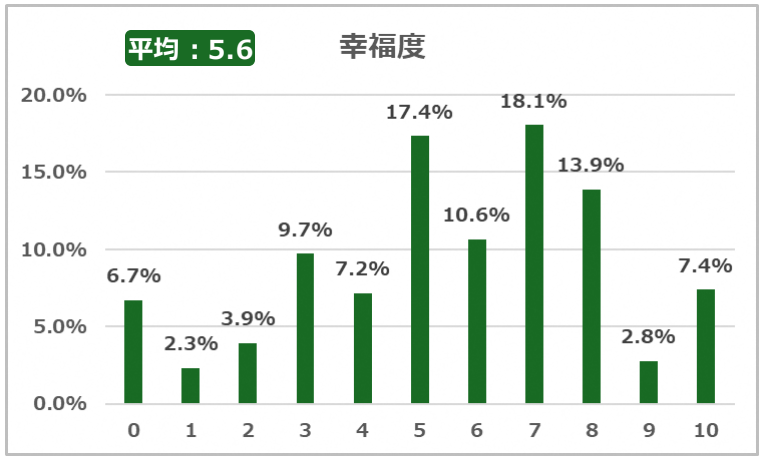


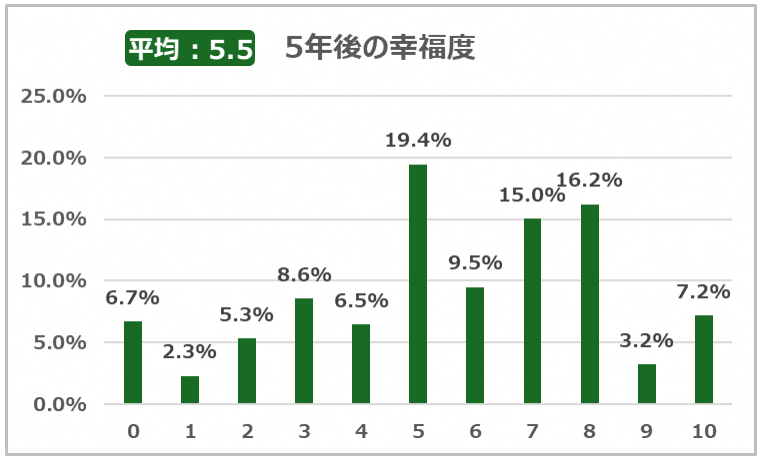


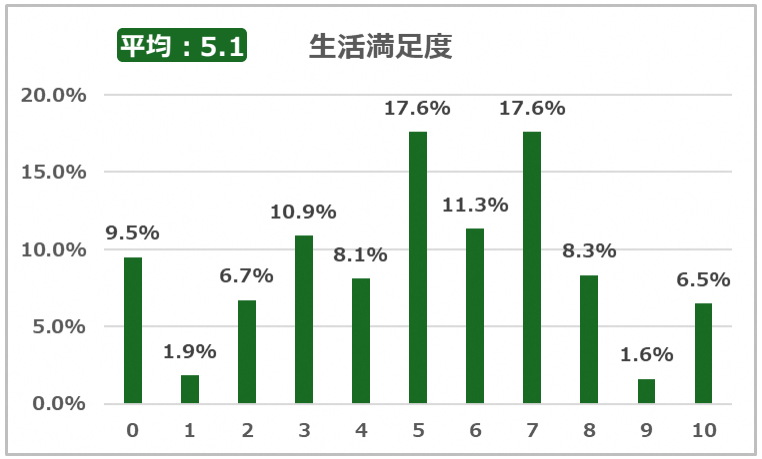
Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

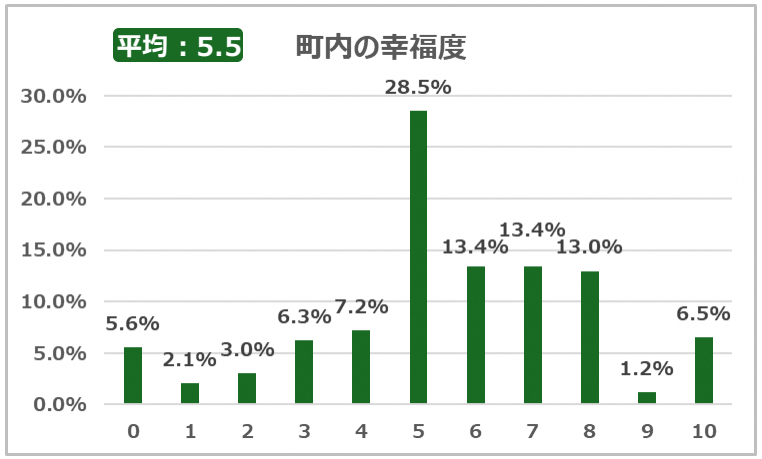
アンケート実施結果：総合指標（1/2）

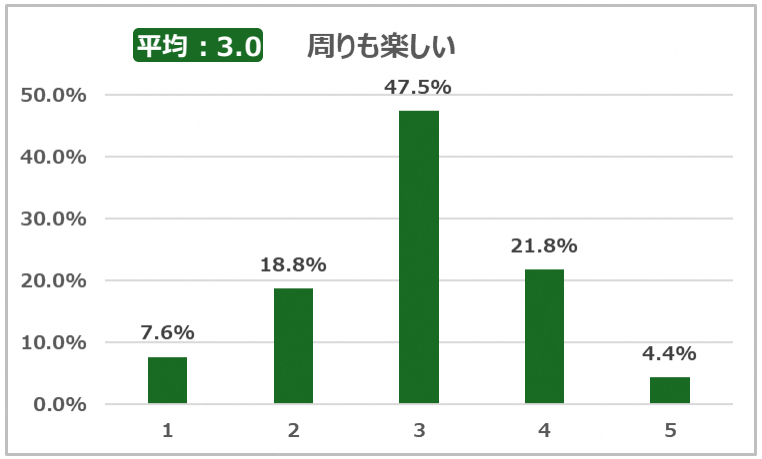
- 「幸福度」や「5年後の幸福度」、「生活満足度」、「町内の幸福度」のいずれも平均値が5以上であり、肯定的な評価の回答割合が高いが、0（「とても不幸」、「とても不満足」）と回答した人が一定数存在する。
- 「周りも楽しい」については、「どちらとも言えない」の回答が多い。







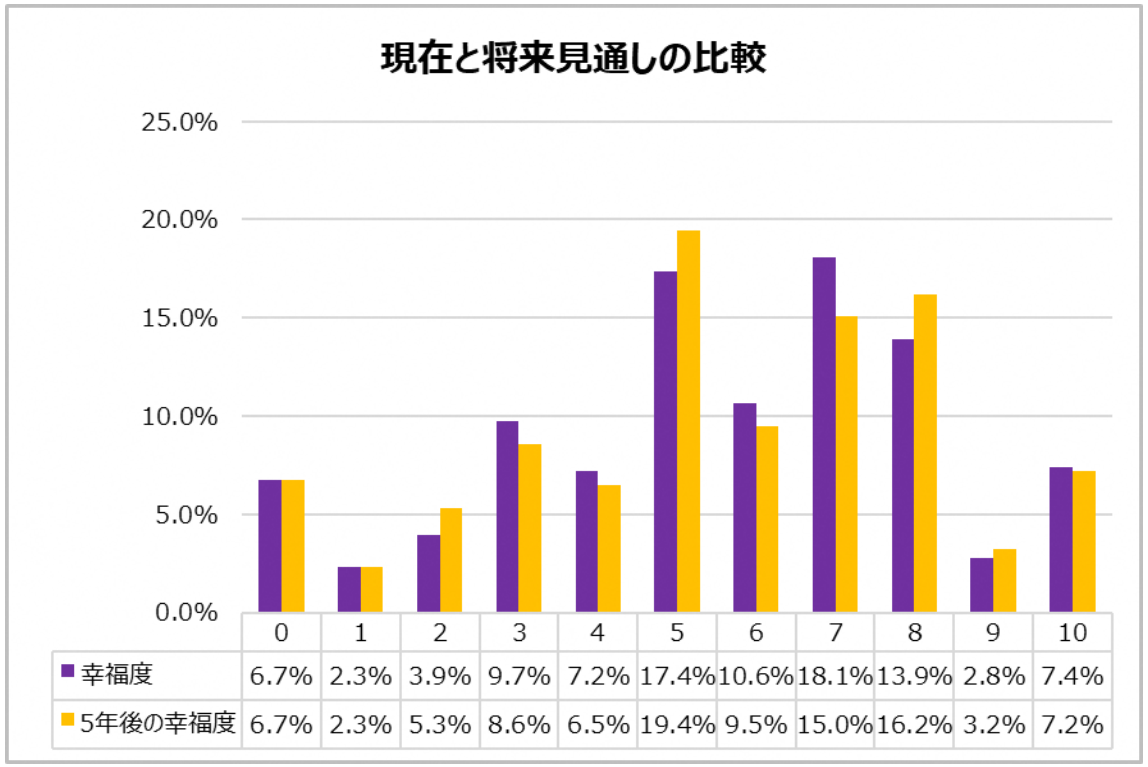




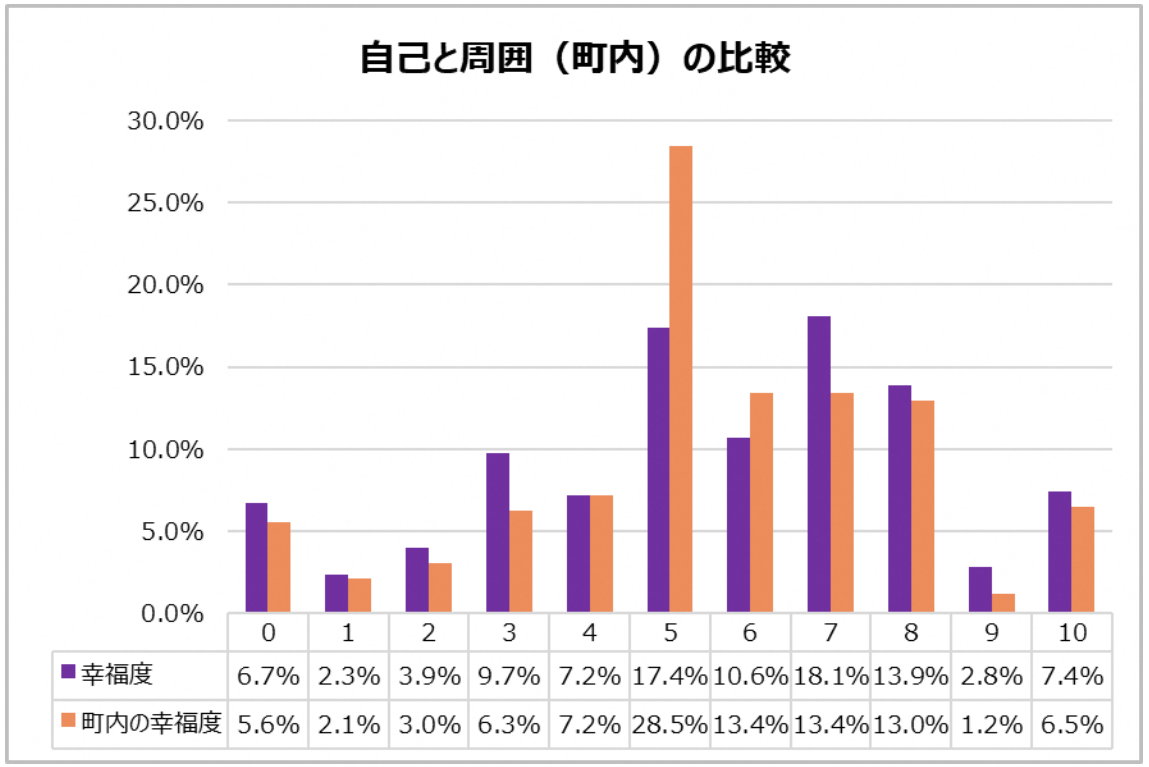
Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

アンケート実施結果：総合指標（2/2）

現在と将来の比較として「幸福度」&「5年後の幸福度」を、自己と周囲の比較として「幸福度」&「町内の幸福度」を並べたグラフが以下の通り。



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
幸福度	6.7%	2.3%	3.9%	9.7%	7.2%	17.4%	10.6%	18.1%	13.9%	2.8%	7.4%
5年後の幸福度	6.7%	2.3%	5.3%	8.6%	6.5%	19.4%	9.5%	15.0%	16.2%	3.2%	7.2%



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
幸福度	6.7%	2.3%	3.9%	9.7%	7.2%	17.4%	10.6%	18.1%	13.9%	2.8%	7.4%
町内の幸福度	5.6%	2.1%	3.0%	6.3%	7.2%	28.5%	13.4%	13.4%	13.0%	1.2%	6.5%

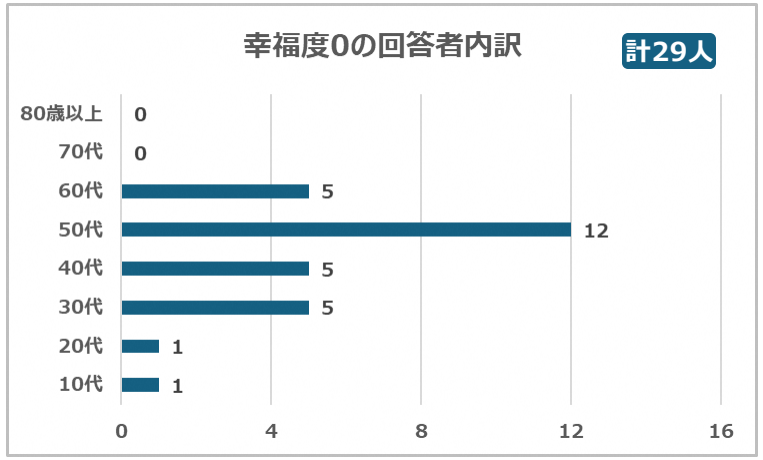
現在と将来見通しの比較に関しては、大きく異なる傾向は見受けられない。

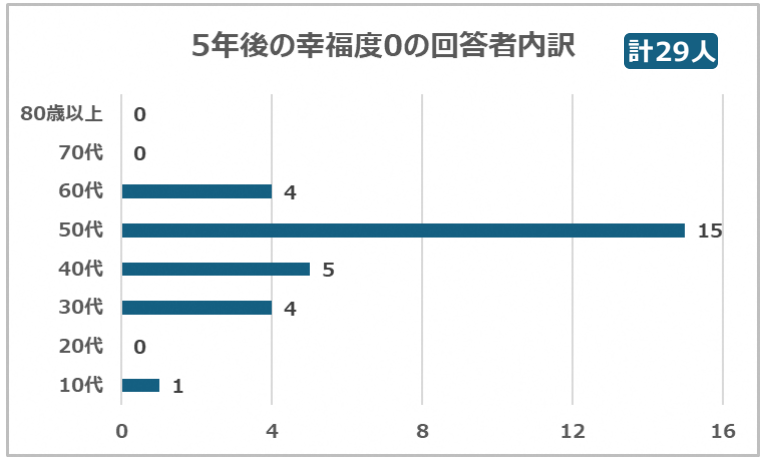
町内の幸福度については5の回答が突出して高いが、自己と周囲の評価については概ね同様の傾向を示している。

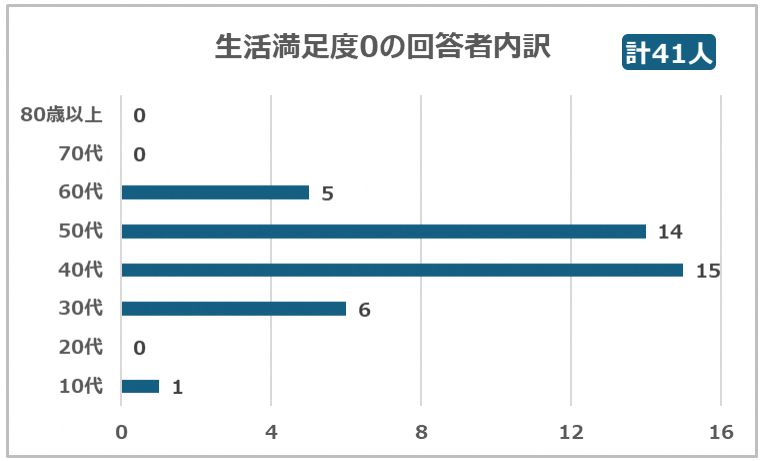
Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

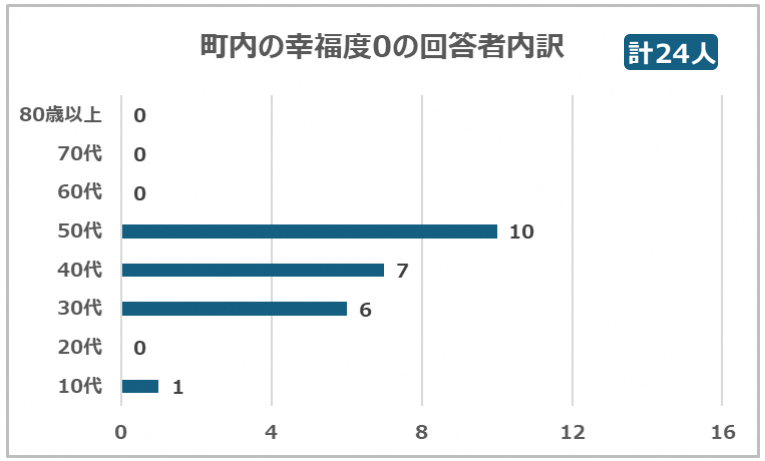
アンケート実施結果：総合指標（補足）

「幸福度」、「5年後の幸福度」、「生活満足度」、「町内の幸福度」において、0（「とても不幸」、「とても不満足」）と回答した人の年齢別の内訳は以下の通りで、全体の回答者数の分布と概ね一致する。





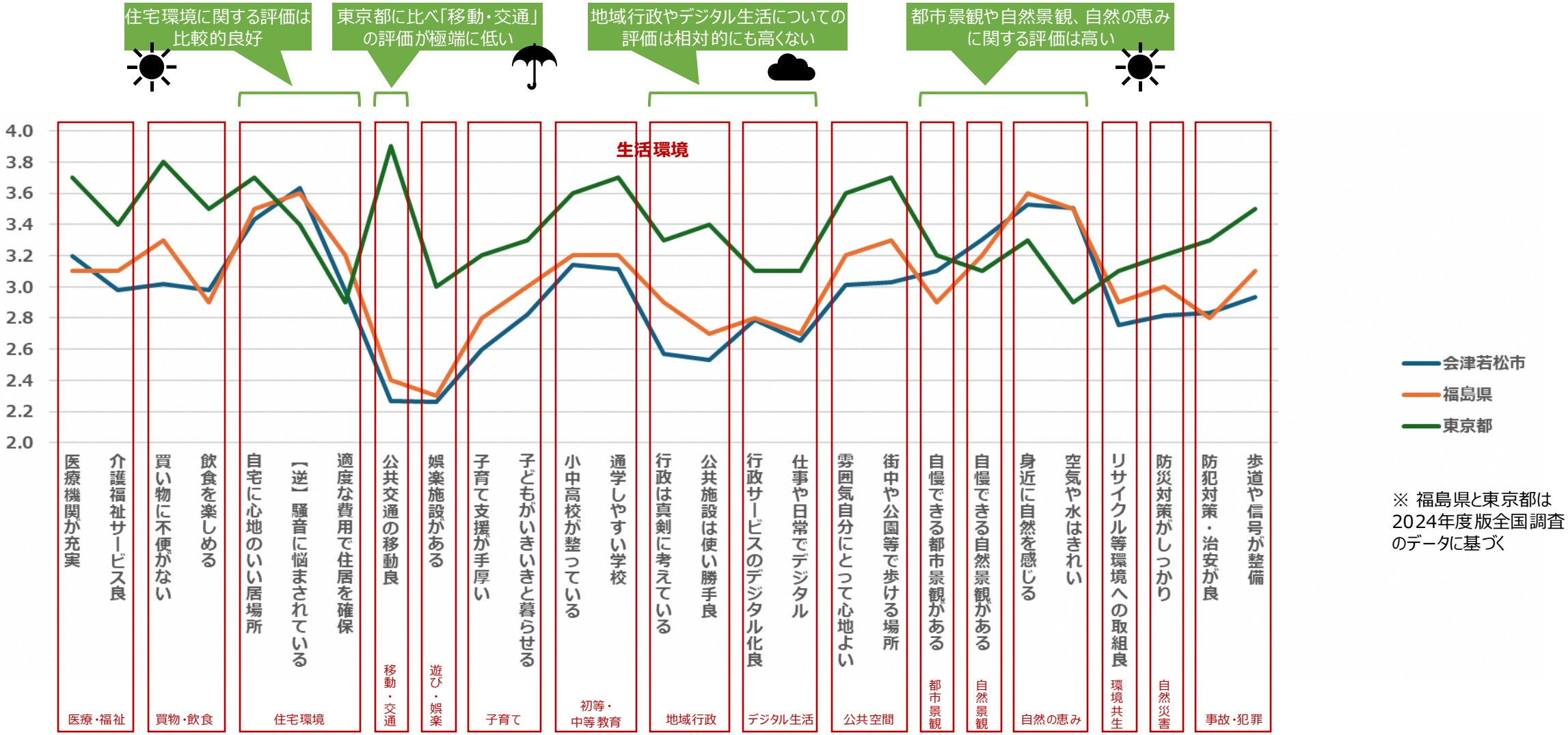




Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

アンケート実施結果：他自治体との比較（生活環境）

会津若松市のデータを福島県、及び東京都と比較した。
福島県とは比較的似た傾向を示す一方、東京都と比べると全体的に低い評価を示す結果となっている。

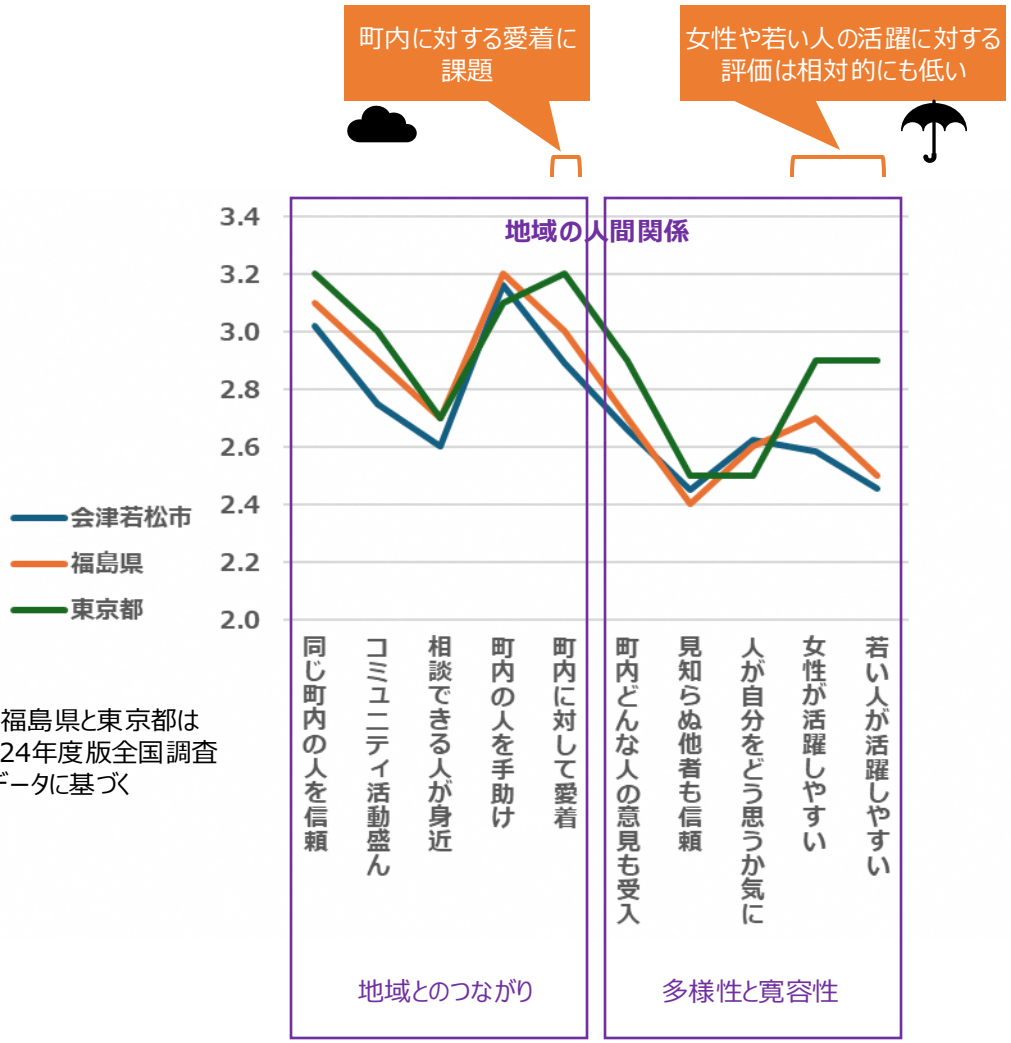


※ 福島県と東京都は2024年度版全国調査のデータに基づく

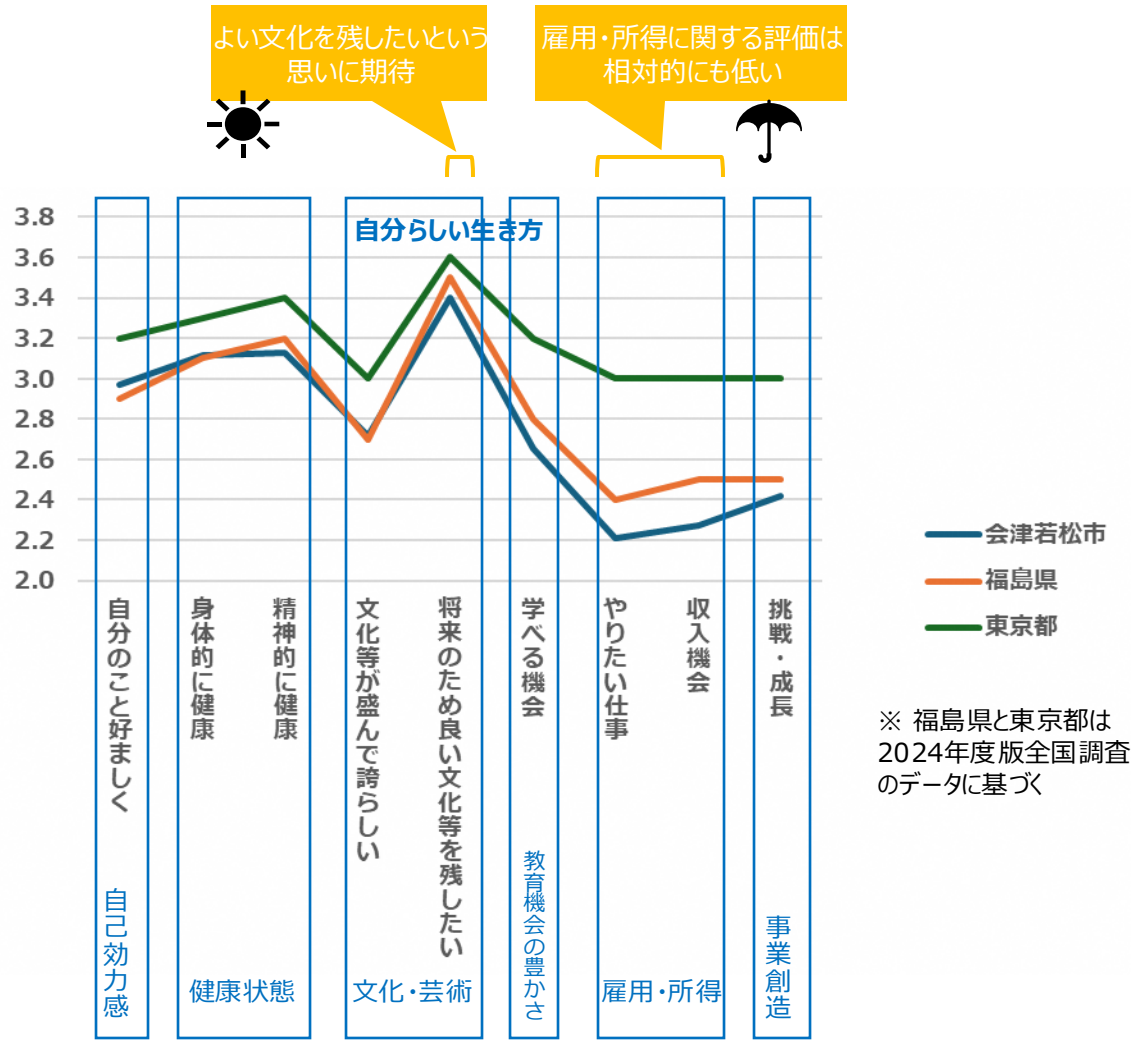
Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

アンケート実施結果：他自治体との比較（地域の人間関係／自分らしい生き方）

「地域の人間関係」と「自分らしい生き方」については、3自治体ともに概ね同様の傾向を示す結果となった。



※ 福島県と東京都は2024年度版全国調査のデータに基づく



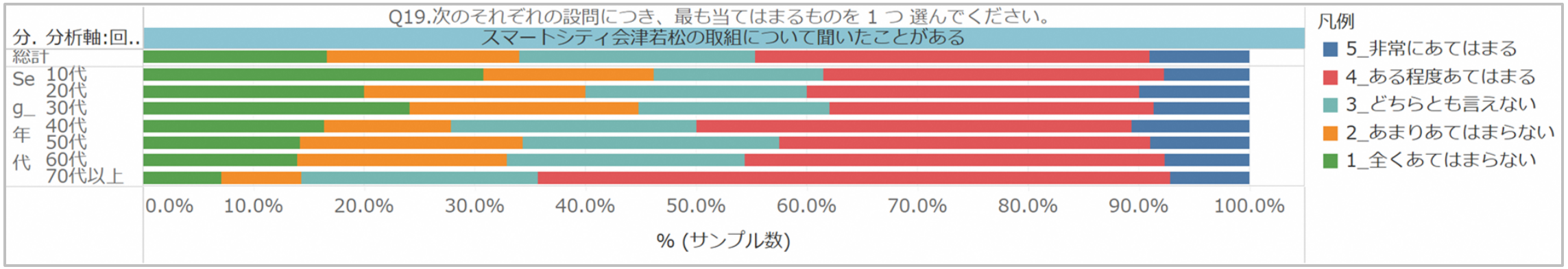
※ 福島県と東京都は2024年度版全国調査のデータに基づく

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

独自アンケート項目

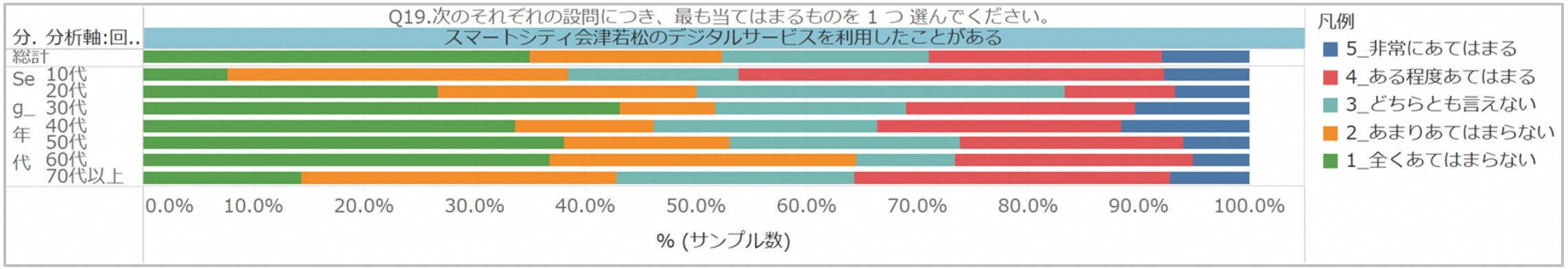
Q　スマートシティ会津若松の取組について聞いたことがある

各世代とも「非常にあてはまる」、「ある程度あてはまる」の回答割合が4～6割程度を占めている一方で、「全くあてはまらない」と回答している割合も一定程度を占めていることから、あらゆる世代や様々な立場の市民に対する認知拡大には改善の余地がある。



Q　スマートシティ会津若松のデジタルサービスを利用したことがある（例：あいべあ、会津コイン、ゆびなびプラス、MyRide、除雪車ナビ、あいづっこWeb、Visitoryなど）

世代ごとのばらつきは多少あるものの、「非常にあてはまる」、「ある程度あてはまる」の回答割合が概ね2～3割程度を占めていることから、領域を限定せずニーズを踏まえた多様なサービスを展開してきた成果が見て取れる。

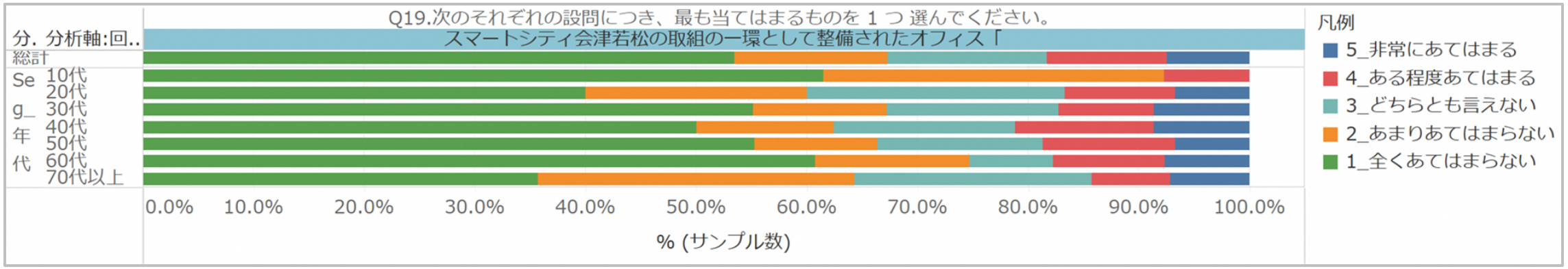


Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

独自アンケート項目

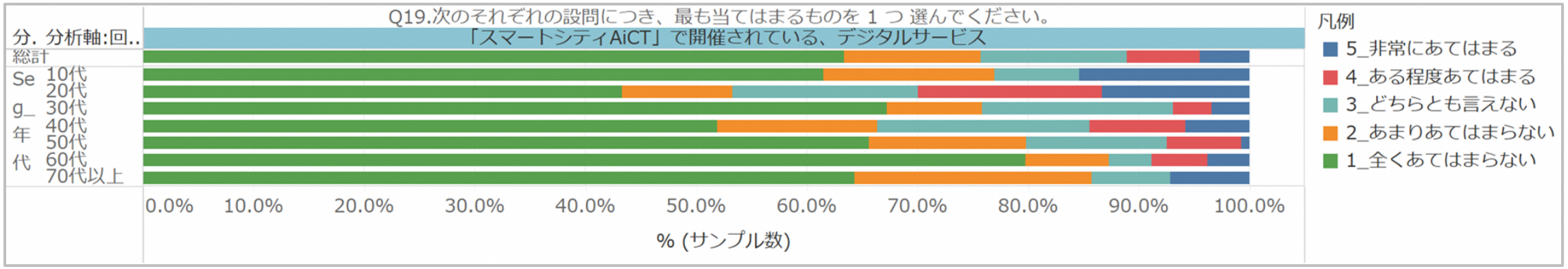
Q　スマートシティ会津若松の取組の一環として整備されたオフィス「スマートシティAiCT」に行ったことがある

10代を除き1割程度が「非常にあてはまる」、「ある程度あてはまる」と回答していることから、各種イベント等何らかのきっかけでオフィスを訪れる機会が一定程度あることがうかがえる。



Q 「スマートシティAiCT」で開催されている、デジタルサービスの体験ができるイベント「AiCTまつり」に行ったことがある

各世代で5～7割程度が「あまりあてはまらない」、「全くあてはまらない」と回答していることから、地域の一大イベントとしての更なる発展には努力を要する。一方で、全世代において「非常にあてはまる」、または「ある程度あてはまる」と回答があることから、地域の行事として定着しつつあることが見て取れる。



Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.

【参考】KPI達成状況（事業効果）

※ 2024年度版全国調査の結果に基づく

事業効果

KPI❷	地域幸福度（Well-Being）指標のデジタル生活因子の主観評価	種別	アウトカム	単位	–
KPIの概要、測定方法	地域幸福度（Well-Being）指標のデジタル生活に関する因子について、主観評価の値を測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	国が普及を進める指標であり、主観評価の数値はスマートシティで提供するサービスを市民が認知しているか、便利に利用しているかといった市民の実感を把握するために適当であるため。				

2024年度末	2025年度末	2026年度末
45.1	46.1	47.1

2024年度末	2025年度末	2026年度末
43.0	–	–

KPIが低下している場合の想定される原因・理由	地域幸福度（Well-Being）指標の主観評価（アンケート調査）のため、結果は様々な要因によるものであり、原因・理由が一概に想定され得るものではないが、市民の実感を伴うデジタル化の推進に改善の余地があると考える。
KPIが低下している場合のリカバリー策	結果については、行政サービスのデジタル化が進んでいると感じている市民や、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすいと感じている市民がまだまだ少ないことを表しているため、ニーズをとらえた多様なサービスの充実化を継続して図っていきたい。

報告書以外のその他の資料について

- ✓ 添付資料１ ： LWCIアンケート票.xlsx
  アンケート会社にアンケートを発注する際のアンケート票
- ✓ 添付資料２ ：LWCIアンケート結果.xlsx
  添付資料１のアンケート結果についてエクセルでまとめたもの
- ✓ 添付資料３ ：LWCIアンケート結果_GT・クロス集計表.twbx
  添付資料１のアンケート結果についてタブローでまとめたもの（Tableau Readerをインストールすれば閲覧可能）
- ✓ 添付資料４ ：【2024年度会津若松市】デジタル庁報告用フォーマット.xlsx
  LWCIアンケートの実施について、デジタル庁への報告用に取りまとめたもの

Copyright © 2025 AiCT Consortium. All rights reserved.